

# 中島公園 未来への魅力継承プラン (案)



札幌市建設局みどりの推進部  
令和7年3月

## 【中島公園 未来への魅力継承プラン 目次】

1 プランの目的・位置づけ	p.1	6 目指す方向性	p.5
2 公園の概要	p.1	7 取組の方向性	p.5
3 公園の魅力	p.3	参考1 関係者ヒアリング調査	p.9
4 公園の課題	p.4	参考2 実証実験	p.12
5 コンセプト・公園のあり方	p.5	参考3 他自治体事例調査	p.17

## 1 プランの目的・位置づけ

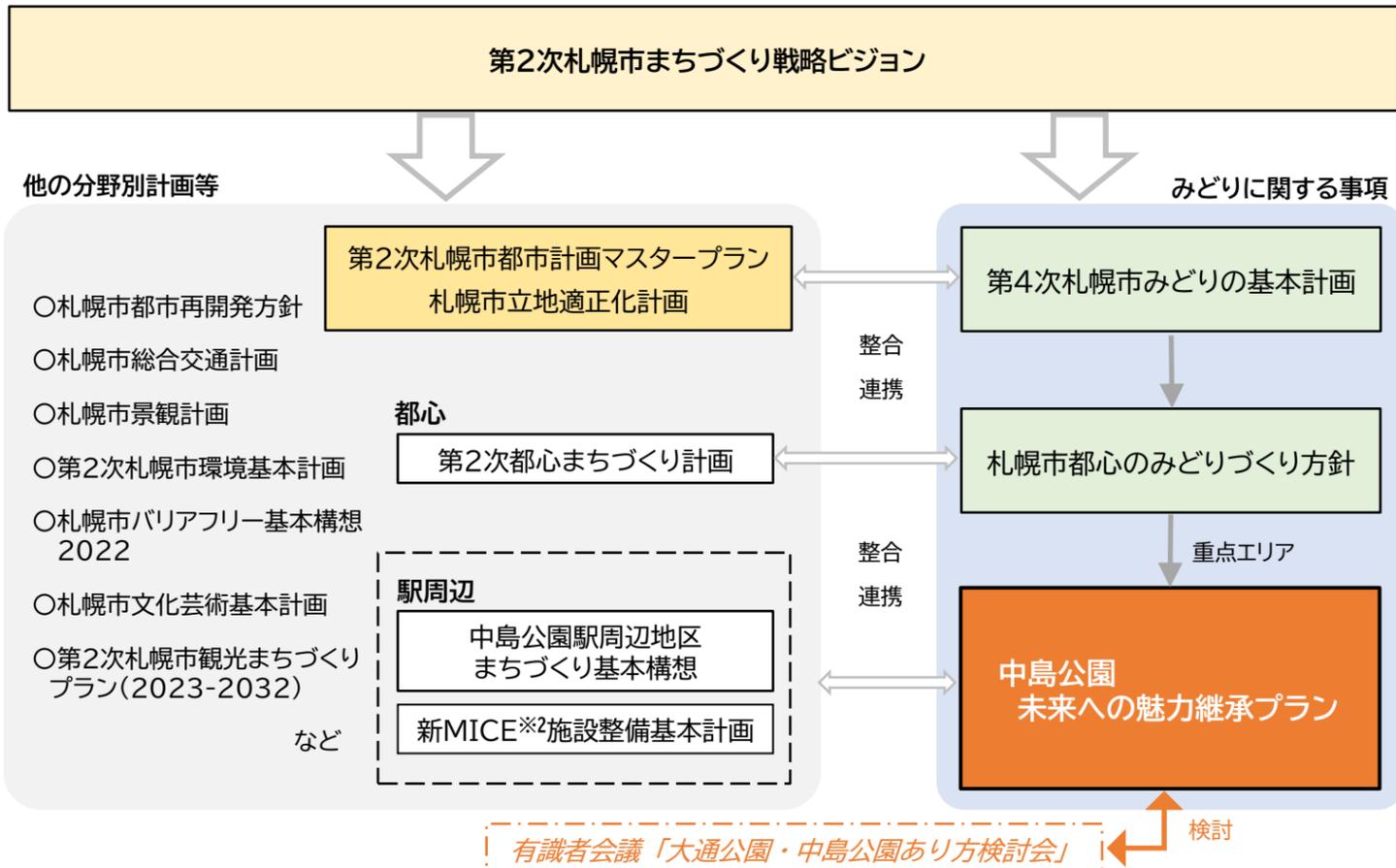
### ① 目的

中島公園周辺エリアについて、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンでは、「市民の憩いの場や国内外からの来訪者を含めた交流の拠点として、都心部の貴重なみどりの魅力を向上させるとともに、集客・交流機能や芸術・文化機能の強化を図」る高次機能交流拠点<sup>※1</sup>として位置付けた。

また、札幌市都心のみどりづくり方針では、重点エリアと位置付け、この取組として「中島公園の魅力アップに向けた機能の強化」を図ることとした。

このような背景から、『中島公園 未来への魅力継承プラン』は、公園の長い歴史を踏まえつつ、公園及びその周辺等の現況、そして、周辺の開発等による将来的な来訪者の増加を見据え、更なる魅力アップや魅力発信、連携・協働体制など、ソフト面を中心に目指す方向性や想定する取組等を示すことを目的として、有識者会議「大通公園・中島公園あり方検討会」において検討を重ね、まとめたものである。

### ② 位置づけ



※1 高次機能交流拠点：産業や観光、文化芸術、スポーツなど、国際的・広域的な広がりをもって利用され、札幌の魅力と活力の向上を先導する高次な都市機能が集積する拠点

※2 MICE：多くの集客が見込めるビジネスイベントなどの総称で、Meeting（企業内会議）、Incentive travel/tour（報奨旅行）、Convention（国際会議・学術会議）、Event/Exhibition（イベント/展示会）の頭文字をとった造語

## 2 公園の概要

### ① 『中島』の由来

- ・中島公園の『中島』という名の由来は、豊平川の流れによって生まれた地形的な特徴に関連している。
- ・定山溪の渓谷を流れ下ってきた豊平川は、藻岩山の脇に差し掛かる辺りで川幅を広げ、広大な扇状地を形成した。札幌のまちはその肥沃な扇状地に築かれ発展してきた。
- ・豊平川の流路は、本流だけでなく様々な分流があったと言われていたが、明治の初めにはその分流である鴨々川と本流に挟まれた地域を「鴨々中島」と呼び、本流の対岸の地域である「中島(なかのしま)、後の中の島」と区別されていた。『中島』は「鴨々中島」に由来している。

### ② 沿革等

公園名称	中島公園	
公園種別	総合公園	
所在地	札幌市中央区中島公園、南14条西5丁目、南15条西4丁目	
面積	236,295㎡	
現在の主な構成要素	子ども向け施設	中島児童会館、こども人形劇場こぐま座、遊具、鴨々川水遊び場
	歴史・文化施設	豊平館(国指定重要文化財)、八窓庵(国指定重要文化財)、札幌コンサートホールKitara、天文台
	運動施設	中島体育センター、中島公園庭球場
	水辺・庭園	鴨々川、菖蒲池、日本庭園
	記念碑等	彫刻、碑像、モニュメント(計14か所)
沿革	明治 4(1871)年	鴨々中島に豊平川から流送した木材を貯める貯木場(元右衛門堀、後の菖蒲池)を設置
	明治20(1887)年	太政官布達(国内初の公園制度)による札幌初の公園「中島遊園地」として整備 北海道物産共進会を開催、エドウィン・ダンの設計による中島遊園地競馬場を開設
	明治21(1888)年	料亭・大中亭が開店、その後数店が開店し賑わいをみせる
	明治22(1889)年	岡田花園が開園、水天宮の社殿を建立
	明治40(1907)年	東京市の技師・長岡安平が公園を設計、札幌招魂社(札幌護国神社)を建立
	明治43(1910)年	「中島公園」に改称
	明治45(1912)年	彌彦(伊夜日子)神社を建立
	大正 7(1918)年	開道50年記念博覧会を開催、馬鉄が電車化され中島公園まで延伸、中島球場を整備
	大正 9(1920)年	本格的なスケートリンクを整備
	大正12(1923)年	製氷場を水泳プールとして整備
	昭和 3(1928)年	NHKラジオ放送局が開局し、北海道初のラジオ放送開始
	昭和 6(1931)年	国産振興北海道拓殖博覧会を開催
	昭和24(1949)年	米軍からかまぼこ型兵舎の払下げを受けて中島児童会館が開館
	昭和29(1954)年	中島スポーツセンターが開館、第9回国民体育大会秋季大会を開催
	昭和32(1957)年	総合公園として告示
	昭和33(1958)年	豊平館を園内に移築、北海道大博覧会を開催、中島子供の国が開園、天文台を開設
	昭和37(1962)年	札幌神社(北海道神宮)例大祭(札幌まつり)で露店等を設置
	昭和38(1963)年	日本庭園が開園
	昭和39(1964)年	豊平館が国の重要文化財に指定
	昭和46(1971)年	八窓庵を園内に移築(国の重要文化財指定は昭和25年) 地下鉄南北線が開通し中島公園駅・幌平橋駅が開駅
昭和51(1976)年	こども人形劇場こぐま座を開設	
昭和55(1980)年	冬のスポーツ博物館が開館	
昭和57(1982)年	歩くスキーコースを設置	
平成元(1989)年	日本の都市公園100選に選定、北海道マラソンのゴール地点となる	
平成 2(1990)年	さっぽろ雪まつり第4会場となる	
平成 7(1995)年	北海道立文学館が開館、中島公園再整備基本計画に基づく大規模な再整備開始	
平成 9(1997)年	札幌コンサートホール Kitaraが開館	
平成19(2007)年	日本の歴史公園100選に選定	
平成30(2018)年	新MICE施設整備基本計画を策定	
令和 3(2021)年	中島公園駅周辺地区まちづくり基本構想を策定	
令和 4(2022)年	Pokemon GO Fest 2022 Sapporoを開催	

### ③ 位置・立地特性

- ・中島公園は地下鉄大通駅から南へ約1.5kmの位置にある。南北両端が地下鉄駅（中島公園駅、幌平橋駅）に接続し、西側の市電路線にも近い。
- ・北側は、札幌駅前通と接続し、繁華街すすきのとつながっている。隣接地では、MICE施設の整備計画があるとともに、ハイグレードホテルが整備されるなど、将来的な来訪者の増加が見込まれる。
- ・南側と西側は住宅地につながり、東側は規模の大きな集合住宅やホテルが数多く立地している。また、東側には豊平川緑地があり、中島公園とともに市民の日常的なレクリエーションの場になっている。



### ④ 各種指定状況

#### ○用途地域※3

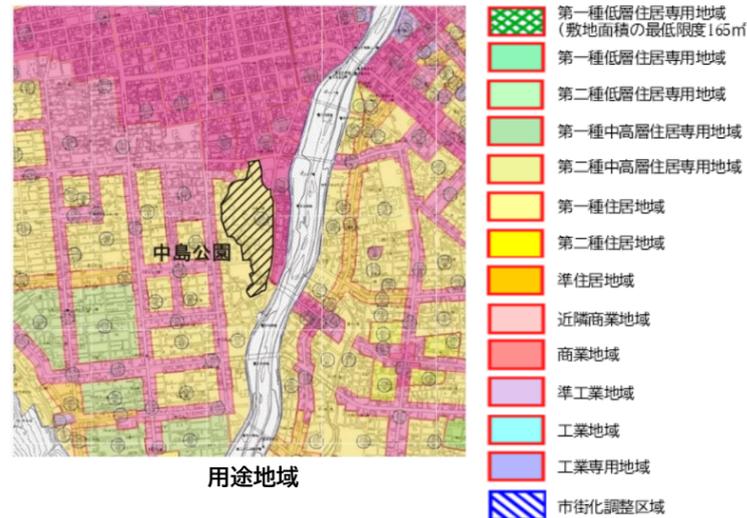
- ・中島公園は都市計画法における「第一種住居地域」に指定されている。
- ・公園の北側と東側は「商業地域」、南側と西側は「第一種住居地域」である。

#### ○立地適正化計画※4

- ・公園の北側は都市の魅力をもつ都市機能等を誘導する「都市機能誘導区域（都心）」、公園及びその周辺は「集合型居住誘導区域」に指定されている。

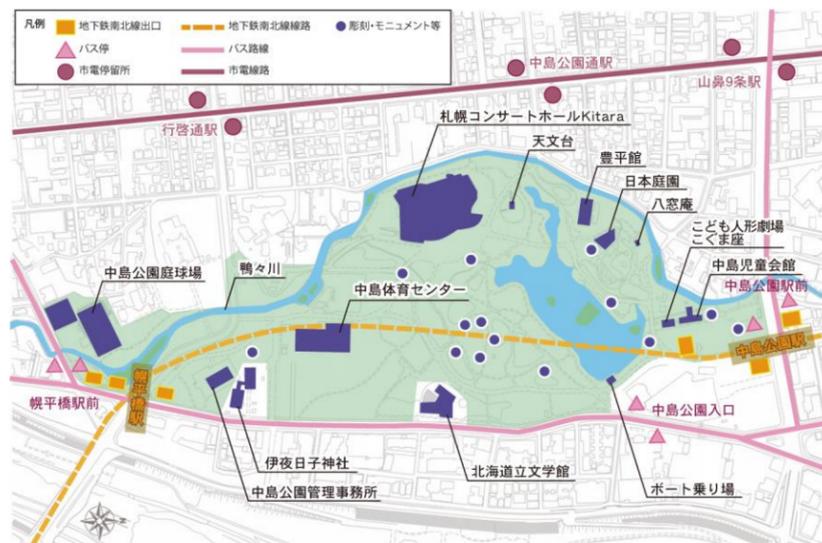
#### ○避難場所

- ・中島公園は、災害発生時の「一時避難場所」であり、大規模な火事から身を守るための「指定緊急避難場所」にも指定されている。また、中島児童会館は基幹避難所を補完する施設である「地域避難所」に指定されている。



### ⑤ 園内施設・公共交通

- ・園内の代表的な施設として、豊平館、八窓庵、札幌コンサートホールKitaraをはじめとした歴史・文化施設や、中島児童会館、こども人形劇場こぐま座等がある。
- ・公園周辺の公共交通として、地下鉄南北線、市電山鼻線、バス路線がある。
- ・地下鉄南北線は、公園北側に「中島公園駅」、南側に「幌平橋駅」があり、中島公園駅周辺は公園の事実上のエントランスとなっている。
- ・市電山鼻線の停留場「中島公園通」は、豊平館、天文台、Kitaraへの最寄り駅となっている。
- ・バス路線は、公園に接してバス停が3か所あり、特にパークホテル近傍の「中島公園入口」はこの位置が公園入口であったことを物語っている。



施設・公共交通等位置図

### ⑥ 利用状況（令和元年度利用者アンケート（n=322））

#### ○利用目的

- ・「散歩や休養」が顕著に多く、次いで「花、庭等の鑑賞」が多い。憩いの場として最も利用されていることがわかる。次に「子供を遊ばせる」が多く、子どもの遊び場としても重要な役割を果たしている。

#### ○利用時間

- ・昼食時は利用者が極端に少なくなる傾向がみられた。

#### [来園時間]

午前中は11:00~11:30をピークに、10:00~12:00にわたってコンスタントに来園がある。その後、12:30~13:00は来園が極端に少なくなるものの、13:00~13:30が1日のピークの内来園者となる。

#### [退園時刻]

12:00~12:30が最も退園者が多い。

#### ○好きな場所やよく行く場所

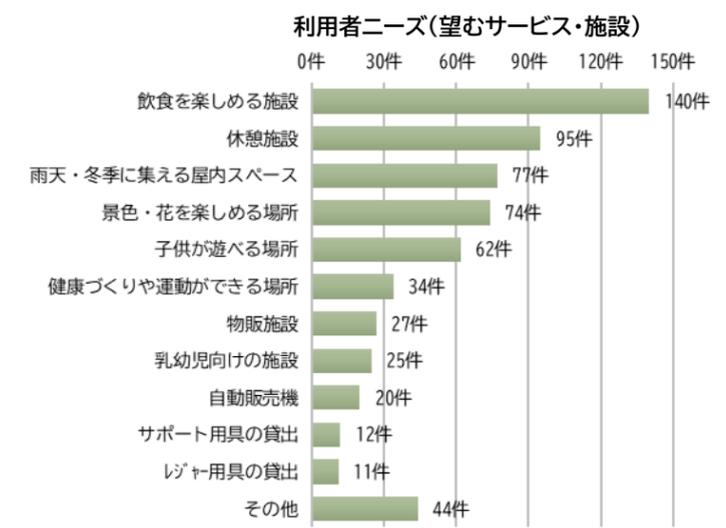
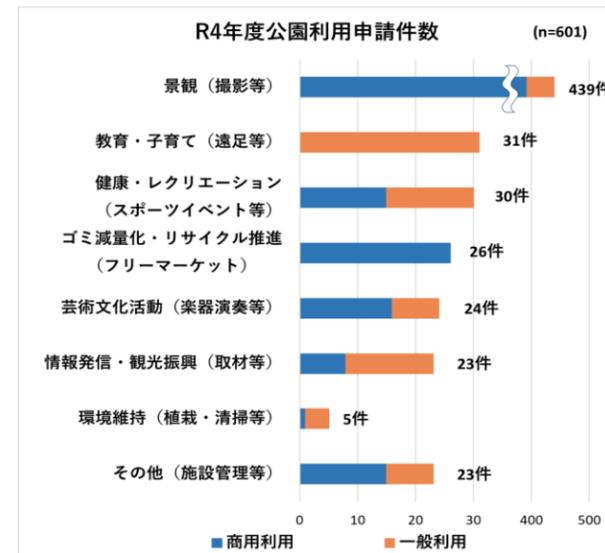
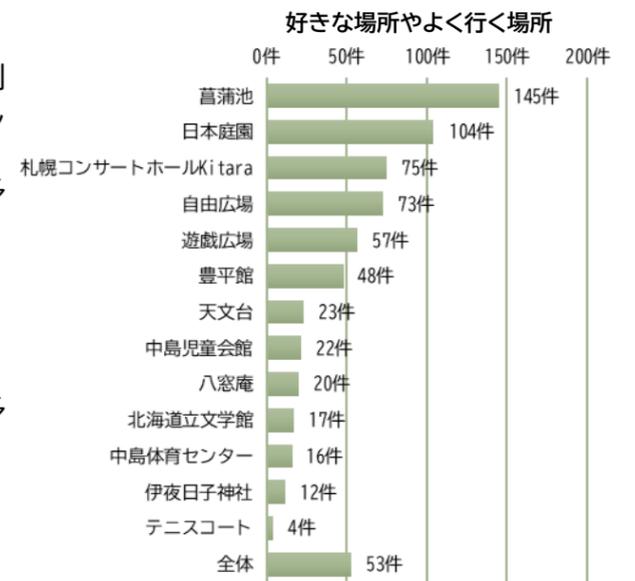
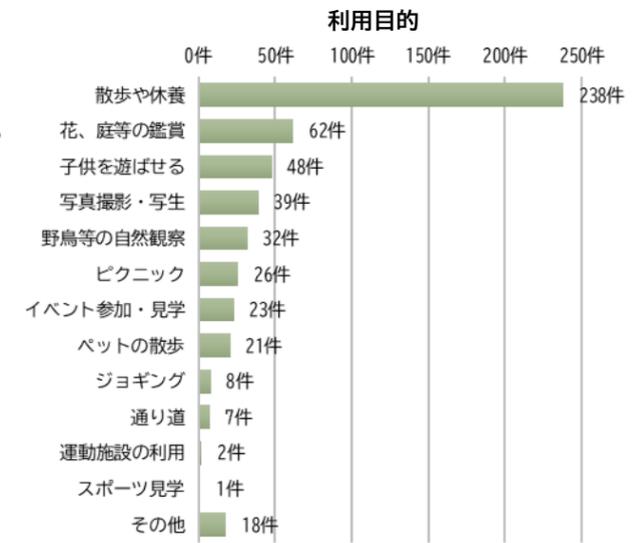
- ・「菖蒲池」が最も多く、次いで「日本庭園」が多い。利用目的として「散歩や休養」が顕著に多いことと符合しているといえる。
- ・「Kitara」の催し・プログラムを目的とする来園者も多い。「自由広場」もほぼ同数であり、交流・賑わいの場として活用されていることがうかがえる。

### ⑦ 利用者ニーズ（令和元年度利用者アンケート（n=322））

- ・回答者が望むサービス・施設で最も多かったのは、**飲食を楽しめる施設**であった。次いで「休憩施設」が多い。

### ⑧ 公園利用申請件数（令和4年度（n=601））

- ・撮影等の景観を目的とする申請が圧倒的に多く、写真撮影関係企業が多数を占めている。



※3 用途地域：都市計画法に基づき、住居や商業・工業など都市の諸機能を適切に配分するための土地利用上の区分を行い、建物の用途や規模などの規制を通して、目的にあった建築物を誘導しようとするもの  
 ※4 立地適正化計画：今後の人口減少下において、市街地区分に応じた人口密度の適正化や、公共交通を基軸とした各種都市機能の適切な配置を図るための計画

## 3 公園の魅力

- ・中島公園は、都心部に立地し、広大な緑地と歴史性を持つ都市公園<sup>※5</sup>である。約23万㎡の敷地には自然豊かな水と緑の空間が広がり、都心部にいながら四季折々の風景に心を奪われていく。
- ・明治40年、公園設計の第一人者であり公園行政のパイオニアといわれる長岡安平により、「池泉回遊式庭園<sup>※6</sup>」として設計された。様々な変遷があるものの、現在も形をとどめその設計思想が活かされている。
- ・市民の日常的な憩いの場であるとともに、多彩な催事・イベントが開催される。芸術・文化が身近に感じられ、海外からの訪問者へも楽しみを提供する。

### ① 四季折々の豊かなみどり

- ・中島公園のみどりは、春のサクラや若々しい新緑、夏の生き生きとした青葉、秋の紅葉したイチョウ並木や冬の樹形など、四季折々にそれぞれ違った表情をみせる。園路沿いの並木や水辺の樹木、日本庭園やバラ園など、場所に応じて美しい姿があり、見る者を飽きさせず、知らず知らずのうちに時間が経過していく。
- ・100年以上の歴史に育まれた5,000本余りの樹木が来訪者を優しく歓迎し、鴨々川や菖蒲池の水辺とのコントラスト<sup>※7</sup>が見る者を引き込み、印象的な景観を形づくっている。



菖蒲池から望む豊平館(夏)



イチョウ並木(秋)



園路沿いのサクラ(春)



冬の樹形

### ② 歴史の重みと風格

- ・開拓期の貯木場が地元住民の要望から札幌初の公園「中島遊園地」となり、100年以上が経つ。中島橋は当時の正面入口であり、鴨々川は蛇行する昔の姿を現代に残す。ケヤキやエゾヤナギ等は今や大木となり見る者を圧倒する。
- ・長岡安平が自然の風致<sup>※8</sup>を織り込んで「池泉回遊式庭園」として設計した。池の水景・借景や藻岩山への眺望は今も絶景である。
- ・国指定の重要文化財である豊平館や八窓庵をはじめ、園内や周辺には数々の歴史的資産を有し、「日本の歴史公園百選」に選定されている。



藻岩山への眺望と借景



長岡安平の設計図



豊平館



八窓庵

### ③ 市民の憩い・交流・賑わいの場

- ・都心部にありながらその喧騒から一線を画す中島公園では、豊かなみどりに囲まれながら、散歩や休養など市民の日常的な憩いの場として思い思いの時間を過ごすことができる。
- ・一方、北海道神宮例祭(札幌まつり)をはじめ、多彩な催事・イベントも開催され、四季を通じたレクリエーションの場という役割も発揮し、賑わいをみせる。
- ・明治20年に北海道物産共進会が開催されて以来、現代においても当時と同様、市民の日常利用とともに、交流・賑わいの場であることに変わりはない。



北海道神宮例祭

### ④ 芸術・文化の拠点

- ・中島公園は古くから芸術・文化の拠点として市民に親しまれてきた。
- ・平成9年に開館した札幌コンサートホールKitaraは道内初の音楽専用ホールであり、音響は世界水準といわれ、数多くの著名な演奏家が来演している。
- ・園内には世界的な彫刻家である山内壮夫や安田侃の彫刻・モニュメント等が立ち並び、そのたたずまいは来訪者の目を和ませる。
- ・公園周辺にも渡辺淳一文学館やシアターZOOなどが立地しており、まさに公園が拠点となって芸術・文化活動の広がりをみせている。



ゆきあかり



札幌コンサートホール Kitara

### ⑤ 国際都市としてのおもてなしの場

- ・海外からの来訪者は、その土地に根付いた文化を感じるものを求めるといわれる。日本庭園は和の心でおもてなしし、石庭や灯籠、鳥のさえずりや水の流れなど風情のある特有の光景が一瞬で来訪者の琴線に触れる。
- ・美しい景色をバックにしたフォト撮影は旅の思い出を提供するほか、朝のジョギングや中島体育センターでのトレーニングなど多様なライフスタイルにも適応する。
- ・公園周辺ではハイグレードホテルの整備やMICE施設の検討が進められており、国際都市として中島公園の役割が一層期待されている。



山内壮夫 彫刻群



日本庭園



中島体育センター



※5 都市公園：都市計画法に基づき、地方公共団体が都市計画施設として設置した公園  
 ※6 池泉回遊式庭園：池を中心に配し、その周囲を回遊して鑑賞する庭園  
 ※7 コントラスト：明るさや鮮やかさなどの差  
 ※8 風致：自然の風景などがもつ趣や味わい

## 4 公園の課題

### 利用環境に関すること

- ・樹木の過密化・大径化(A)により、鬱蒼としていて暗く、立ち寄りにくい場所がある
- ・ベンチやテーブルが少ないなど、休憩場所が足りない
- ・散策路がわかりづらく、利用しづらい
- ・動線(B)が車椅子利用者に配慮し切れていない
- ・案内板・誘導サイン(C)が見つらく、歩行者が気づきにくい
- ・2か国語と5か国語の誘導サインが混在している
- ・時間帯によっては駐輪場(D)が飽和状態である

### 施設・敷地に関すること

- ・北入口広場(E)が寂しい印象があり、公園の顔に相応しい設えとは言いがたい
- ・広場のような場所(F)が多く、公園を活用し切れていない
- ・管理事務所(G)の場所がわかりづらく、認知されていない
- ・施設・設備等の老朽化がみられる
- ・一部の施設が、まるで公園に背を向いているような建て方である
- ・飲食等の施設が利用しづらい

### 情報発信に関すること

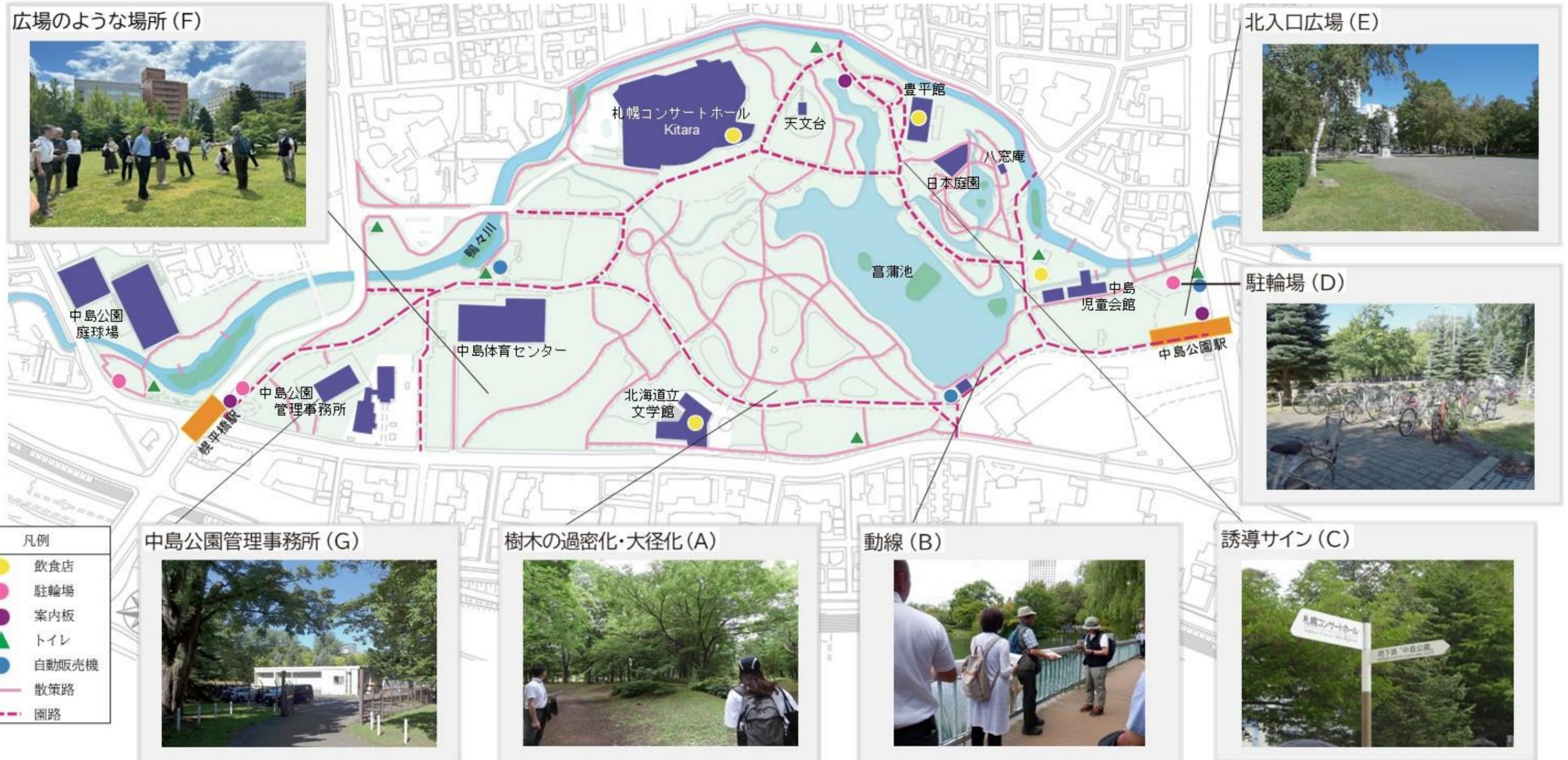
- ・様々な魅力あふれる中島公園の良さを伝え切れていない
- ・各施設のイベントを含む公園全体を網羅した情報発信がない
- ・施設ごとに指定管理者※9が異なり、一体的な情報発信が難しい
- ・公園周辺のマップが様々作成されているが、あまり知られていない
- ・管理事務所(F)が利用者の少ない場所にあり、情報発信する場になっていない

### 関係者の連携に関すること

- ・各指定管理者が様々な活動を行っているが、連携した事業は少ない
- ・連携できる事業アイデアはあるものの、実施には至っていない
- ・利用者が目的の施設に来て、その後の相乗効果に至っていない
- ・公園と周辺事業者との関係が情報共有程度にとどまっている
- ・中島公園地域コミュニティ推進協議会※10が機能を十分に発揮していない

※9 指定管理者：地方自治法に基づき、地方公共団体に指定された公の施設の管理を行う者

※10 中島公園地域コミュニティ推進協議会：園内の施設管理者や近隣ホテルの事業者等を構成員として公園の利活用を推進する協議会



- 凡例
- 飲食店
  - 駐輪場
  - 案内板
  - ▲ トイレ
  - 自動販売機
  - 散策路
  - - 園路

## 5 コンセプト・公園のあり方

### 《 歴史が紡いできた魅力の継承と新しい時代への呼応 》

中島公園は、札幌都心部に位置する恵まれた立地と広大な水辺や緑の存在から、市民の貴重なオアシス空間となっている。

公園が作られてから100年以上もの歴史の中で、時代の要請に応える形で様々な施設や機能が整備・更新され、今日に至っている。札幌の歩みとともに寄り添ってきたこの長い歴史が、中島公園に歴史的・文化的資産の集積をもたらし、公園の大きな特長となり、風格を高めてきた。長岡安平の設計思想は現在も色あせていない。自然との調和を図りつつ歴史や芸術文化が息づく公園の姿は、未来に継承しなければならない。

近年、公園周辺ではMICE施設の整備計画があるほかハイグレードホテル等の建設が進んでおり、国内外からの来訪者の増加が想定されるなど、取り巻く環境が大きく変わりつつある。

中島公園はこのような動きにも呼応しながら、市民に愛され、札幌が世界に誇るシンボル公園の一つとして、少しずつ進化を続けていく。

## 6 目指す方向性

### 方向性1 四季折々のみどりが彩るオアシス空間

中島公園は、都心部では貴重となる広大な緑地を持ち、豊かなみどりに存分に触れられる環境である。水と緑の景観は、四季折々に姿を変え、訪れる人を楽しませてくれる。

このような環境・景観を将来にわたって守り、育てるとともに、利用者が立ち寄りやすく、安全・安心に楽しむことができるオアシス空間として、公園づくりを進めていく。

### 方向性2 伝統と風格に相応しい設えやおもてなし

中島公園は、明治期に「池泉回遊式庭園」として整備されて以来、様々な変遷を経ながら、長い年月をかけて現在の設えとなった。しかし、繁華街すすきのとつながる北入口広場は公園の顔としては寂しく、一部の建物で老朽化が進む。また、園内には情景と調和しているとはいいがたい建物もある。

今後は、周辺動向と歩調を合わせつつ民間活力の導入も視野に入れながら、伝統と風格に相応しい設えでおもてなしを提供する。

### 方向性3 市民や観光客が集う交流・賑わいの場

中島公園で開催される催事・イベントは、市民にとって大事な娯楽のひと時であり、まちに活気を生み出している。

古くから芸術・文化やスポーツの場として親しまれ、子どもたちや若者で賑わいをみせるとともに居場所の役割も果たすなど、多様な機能を発揮している。

引き続き市民に親しまれ、観光客も楽しめる活動を後押しし、交流・賑わいが生まれる取組を推進していく。

### 方向性4 あふれる魅力を効果的に伝える情報発信

中島公園は、四季折々のみどり、歴史、芸術・文化など様々な魅力を有し、多彩な催事・イベントが開催されるほか、園内の施設では各種コンテンツを提供しているが、多岐にわたる情報が効果的に伝わっているとは現状いいがたい。

これまで以上に適時的確に伝わる受け手重視の情報発信を行うとともに、中島公園の魅力が認知され、愛着を深めてもらえるような取組を推進していく。

### 方向性5 新しい時代の管理運営

園内の施設ではそれぞれ様々な取組を行っているが、施設ごとに指定管理者が異なり、相乗効果には至っていない。公園周辺の事業者との関係も、情報共有程度にとどまっている。

未来へ魅力を継承し新しい時代に呼応していくためにも、周辺を含めた公園全体の連携・協働体制の構築を図るとともに、市民と協働して公園づくりを行い、災害時にも円滑に対応できる管理運営を目指す。

## 7 取組の方向性

- 1-1 うるおいと安らぎのあるみどり環境の保全・創出
- 1-2 ゆっくりとひと時を過ごす憩いの場の提供
- 1-3 誰もが歩いて楽しめる回遊性の向上

- 2-1 公園の顔となる北入口広場の改善
- 2-2 公園の情景に調和する施設の整備・更新
- 2-3 多種多様な方々を歓迎するおもてなし

- 3-1 多彩な催事・イベント会場の提供
- 3-2 芸術・文化活動やスポーツの推進
- 3-3 子どもや若者が集う居場所づくり

- 4-1 様々な媒体を活用した適時的確な情報発信
- 4-2 絶景を活かしたロケーションの提供
- 4-3 公園への愛着を育む機会の創出

- 5-1 園内各施設間の連携・協働
- 5-2 周辺事業者との連携・協働
- 5-3 市民との協働とコミュニティの醸成
- 5-4 災害時に備えた安全・安心の取組

## 方向性1 四季折々のみどりが彩るオアシス空間

### 1.1 うるおいと安らぎのあるみどり環境の保全・創出

5,000本あまりの樹木や日本庭園、菖蒲池など、都心部にある貴重なみどり環境として、市民にうるおいと安らぎを提供してきました。この環境を適切に維持・管理し、適度に間伐を行いながら、質の向上を図っていきます。また、樹木の過密化・大径化による利用者の立ち寄りにくさを改善するため、将来的な施設更新等と併せて光を取り入れた整備を検討します。



【想定取組】

- ・みどりの適切な維持・管理による質の向上
- ・[長]園内樹木の整理

### 1.2 ゆっくりとひと時を過ごす憩いの場の提供

中島公園には様々な魅力がある中、最も多い利用目的は「散歩や休養」であり、昔から市民の憩いの場としてその役割を果たしてきました。2050年には市民の約4割が65歳以上と推計され、ゆっくりと安心して過ごせる場がより重要となることから、ベンチやテーブル等のある休憩場所の整備や、トイレを更新する際にはユニバーサルトイレの導入を検討します。



【想定取組】

- ・[中]園路におけるたまりスペース、休憩場所の検討
- ・[中]ユニバーサルトイレへの更新

### 1.3 誰もが歩いて楽しめる回遊性の向上

四季折々のみどりを観賞し、鳥のさえずりを聞きながら、約23万㎡の園内を歩いて楽しめるのが中島公園です。一方、散策路がわかりづらい、案内板・誘導サインが気づきにくい、池周辺の柵が車いす利用者の目線と重なり池が見えないといった声も上げられています。これらの改善を検討し、誰もが安心して利用できるように回遊性の向上を図ります。



【想定取組】

- ・[長]散策路の改善
- ・サイン等の改善
- ・[中]ユニバーサルの視点に配慮した動線の整備

## 方向性2 伝統と風格に相応しい設えやおもてなし

### 2.1 公園の顔となる北入口広場の改善

中島公園入口は時代とともに変遷してきました。現在の公園の顔は、駅に直結し繁華街すすきのとつながる北入口広場といえますが、顔としては寂しい印象があります。隣接地ではMICE施設の整備計画等があることから、周辺動向と歩調を合わせて関係部局と調整を続け、札幌駅前通との接続やイチョウ並木等を重視した相応しい設えを検討します。



【想定取組】

- ・公園の顔に相応しい設えの検討
- ・パークセンター※11（インフォメーションセンター）機能の検討

### 2.2 公園の情景に調和する施設の整備・更新

都心部にあり交通の利便性が高い中島公園は、時代の要請に応じて様々な施設が入れ替わり整備されてきました。現在も幅広い分野の施設が建ち並びますが、一部の建物は公園の情景に溶け込んでおらず、老朽化もみられます。環境負荷※12低減の観点から、適切に修繕・補修等を行っていきませんが、整備や更新に際しては、藻岩山への眺望や菖蒲池等をはじめとした公園の情景との調和を図ります。



【想定取組】

- ・施設の修繕・補修等
- ・[長]公園の情景と調和した施設整備

### 2.3 多種多様な方々を歓迎するおもてなし

市民に親しまれながら100年以上が経過する中、日本庭園をはじめとした風情のある特有の光景は、海外からの来訪者も魅了しています。公園周辺の動向から、中島公園は国際都市としての役割が一層期待されていますが、園内は多言語化※13に十分対応しているとはいえ、飲食機能の不足も否めないところです。市民や観光客を温かく迎えるおもてなし機能の強化を図ります。



【想定取組】

- ・公園情報の多言語化
- ・公園に相乗効果を創出する飲食機能の導入検討

## 方向性3 市民や観光客が集う交流・賑わいの場

### 3.1 多彩な催事・イベント会場の提供

明治20年に北海道物産共進会が開催されて以来、現在も大規模なイベントから催事まで四季を通じて行われ、市民や観光客が集う交流・賑わいの場となっています。特に北海道神宮例祭（札幌まつり）では、多数の露店が園路に並び、子どもからお年寄りまで埋め尽くしています。今後も多くの方が安全・安心に楽しめる多彩な催事・イベント会場として提供していきます。



【想定取組】

- ・多彩で安全・安心な催事・イベント会場の提供
- ・指定管理者による自主事業の実施

### 3.2 芸術・文化活動やスポーツの推進

芸術・文化の拠点として、各施設ではそれぞれの特長を活かしたプログラムを展開しています。また、古くからスポーツの場としても知られていますが、ジョギングコース、ウォーキングコースとして利用されるほか、冬季は歩くスキーコースとしても定着しています。引き続き、芸術・文化の拠点及びスポーツの場として、各活動の振興を図っていきます。



【想定取組】

- ・各施設によるプログラムの展開
- ・芸術文化活動・スポーツの場の提供

### 3.3 子どもや若者が生き生きと過ごせる居場所づくり

中島公園は子どもや若者にも親しまれ、特に夏季の鴨々川水遊び場は子どもたちで賑わいをみせています。少子化や共働き世帯の増加など社会構造の変化に伴い、子どもや若者が安心して自分らしく過ごせる環境が一層求められています。将来的な施設更新等と併せてレクリエーション機能の充実を図るとともに、気兼ねなく滞在できる空間形成を検討します。



【想定取組】

- ・[長]遊具の配置再編・質の向上
- ・子どもや若者が気兼ねなく滞在できる空間形成の検討

[中]中期の略。目安は5～10年。 [長]長期の略。目安は10～20年。

※11 パークセンター：公園利用者の休憩や交流等の機能も備えた管理事務所  
 ※12 環境負荷：人の活動により環境に加えられる影響であって、環境保全上の支障の原因となる恐れのあるもの  
 ※13 多言語化：観光や国際交流の推進に向け、複数の言語で情報を表示すること

## 方向性4 あふれる魅力を効果的に伝える情報発信

### 4.1 様々な媒体を活用した適時的確な情報発信

様々な魅力を有する中島公園ですが、残念ながらその良さを十分に伝え切れておらず、園内の各種情報を全体的に網羅した発信もない状況です。今後はウェブサイト※14やSNS※15、回遊マップなど、情報媒体の特性に応じた効果的な活用方法を検討の上、市民や観光客が中島公園の良さを理解し、興味を示し、訪れたいくなるような受け手重視の発信を適時的確に行っていきます。



**【想定取組】**

- ・WEBやSNS、回遊マップなど情報媒体の特性に応じた情報発信
- ・園内・周辺施設とのイベント情報の共有、各施設利用者への情報提供

### 4.2 絶景を活かしたロケーションの提供

公園利用申請件数を目的別に見ると、商用写真撮影等の景観目的が群を抜いて多く、中島公園の景観は企業からも高い評価を得ています。昨今は個人による撮影・発信も大きな影響力があり、中島公園は多くの絵になる「映えスポット※16」を提供できることから、公園のルールに理解をいただきつつ、企業・個人の撮影・発信に積極的に協力していきます。



**【想定取組】**

- ・フィルムコミッション※17（映画・テレビ・CMなど）への協力
- ・「映えスポット」の情報発信

### 4.3 公園への愛着を育む機会の創出

中島公園は、その豊かなみどり環境から、アオサギやアカゲラ、シマエナガなど、都心部では見かけることが珍しい野鳥のほか、キタキツネやエゾリスなどの野生動物が見られ、観察会が開催されています。また、遠足や野外学習、写生会など、教育活動の場としても利用されています。こうした機会は公園への愛着形成の契機となることから、更なる機会創出につながる情報発信を行っていきます。



**【想定取組】**

- ・野鳥観察会、生き物観察会等の実施
- ・ガイドツアーの実施
- ・教育活動、生涯学習の場の提供

## 方向性5 新しい時代の管理運営

### 5.1 園内各施設間の連携・協働

園内の各施設では様々な取組を行っていますが、指定管理者が異なり、連携した事業は少ない状況です。中島公園全体の魅力向上に取り組む上では、主導・統括するマネジメント体制が重要となります。今後は各施設と連携した実証実験を繰り返し実施し、連携を強化しつつ課題等の整理・検証を行い、その結果を踏まえて実効性のある連携・協働体制の構築を図ります。

指定管理者が異なる



**【想定取組】**

- ・園内各施設と連携した実証実験の実施
- ・園内各施設間の連携・協働体制の構築

### 5.2 周辺事業者との連携・協働

中島公園周辺には宿泊施設や飲食店など様々な事業者がいますが、公園との関係は情報共有程度にとどまっています。公園全体の魅力向上に取り組む上では、周辺事業者及びその利用者との関わりも非常に重要となります。園内各施設による実証実験にあたっては、周辺事業者にも協力を得たうえで実施し、周辺事業者も含めた連携・協働体制の構築を図ります。



**【想定取組】**

- ・周辺事業者の協力を得た実証実験の実施
- ・周辺事業者との連携・協働体制の構築

### 5.3 市民との協働とコミュニティの醸成

中島公園で行われる催事は市民主催のものも多く、美しい美観を誇る花壇は市民ボランティアによって支えられています。公園を利用するだけでなく、何らかの形で管理運営に参画し、楽しみながら活動してもらうことは、コミュニティの醸成にもつながっていきます。市民と協働しながら公園づくりを行うとともに、公園での活動を通じてコミュニティの醸成を図っていきます。



**【想定取組】**

- ・市民活動の場の提供
- ・公園ボランティアとの連携・協働

### 5.4 災害時に備えた安全・安心の取組

公園の重要な役割に防災機能があります。札幌市内の公園は地震発生時の一時避難場所となっており、中島公園は大規模火災発生時の緊急避難場所にも指定されています。また、昨今は全国的に集中豪雨の被害も多数発生しています。災害に備えて関係機関と円滑に連携・協力できるよう取り組むとともに、集中豪雨対策として周辺への被害を抑制する流域貯留施設※18を整備するなど、防災機能を高めます。



**【想定取組】**

- ・災害時に備えた関係機関との連携・協力
- ・流域貯留施設の整備

## ◎ 今後の取組にあたって

- 中島公園駅周辺地区まちづくり基本構想では、北入口広場及びその隣接地を「重点再整備エリア」とし、「MICE・ホテル施設と調和した魅力的な空間」を創出することとしている。これを踏まえ、本プランにおいても、公園周辺のまちづくりや開発プロジェクトと歩調を合わせながら推進し、エリア全体に相乗効果を創出していく。
- 開発プロジェクトについては、現時点で構想・検討段階の事柄が多く、今後、内容やスケジュール等が明らかになってくるため、引き続き関係部局と連携を続けつつ、本プランで想定した取組はできるものから調整を進めていくこととする。
- 特に公園関係者が連携する実証実験は、継続して行うことにより、課題等の整理・検証の結果を蓄積できることに加え、関係者間の連携強化や中島公園の更なる魅力の掘り起こしにもつながることから、先行して取り組んでいくものとする。
- なお、本プランはソフト面を中心にまとめたものであるが、更なる魅力向上を図る上では、施設の整備・更新による機能向上などハード面も重要であることから、各施設の更新時期等を見据えながら、関係部局とともにハード面を含めた将来的な中島公園の全体像を整理することとする。

※14 ウェブサイト：インターネット上において文字や図表、画像等により様々な情報を公開又は閲覧できるシステム  
 ※15 SNS：social networking serviceの略。インターネット上において人々がつながり情報共有するためのプラットフォーム  
 ※16 映えスポット：SNSなどで話題になるような写真映える場所

※17 フィルムコミッション：映画やテレビドラマ、CMなどの制作を誘致し、撮影が円滑に進行するよう支援する組織  
 ※18 流域貯留施設：洪水被害を防止・軽減するため、地面を部分的に掘り下げ、雨水を一時的に貯留して河川へ一度に流れ込まないようにする施設

## ◎ 大通公園・中島公園あり方検討会 委員名簿

敬称略

	氏名	役職	プロフィール
学識経験者	あいこう てつや 愛甲 哲也	北海道大学大学院 農学研究院 教授	専門：造園 公職：第2次緑の審議会会長、環境審議会委員
	いけのうえ しんいち 池ノ上 真一	北海商科大学 観光産業学科 教授	専門：観光まちづくり 公職：「札幌市時計台」及び「札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮」指定管理者選定委員会委員
	おざさ たかお 小篠 隆生	一般社団法人新渡戸遠友 リビングラボ 理事長	専門：都市計画、建築計画 公職：第20次緑の審議会委員、北海道大学大学院工学研究院非常勤講師
	しいの あきお 椎野 亜紀夫	札幌市立大学 デザイン学部 教授/デザイン学部長	専門：都市公園、遊び場 公職：札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会委員、都市計画審議会委員
	たかの しんえい 高野 伸栄	北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門 教授	専門：交通計画、都市地域計画、建設マネジメント 公職：札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会委員、札幌市高齢者健康寿命延伸検討委員会委員
	もり ともこ 森 朋子	札幌市立大学 デザイン学部 准教授	専門：都市計画、景観 公職：札幌市景観審議会委員、札幌市中高層建築物紛争調整委員会委員、第23次緑の審議会委員
	よしおか あきこ 吉岡 亜希子	北海道文教大学 人間科学部 地域未来学科 教授	専門：社会教育、子育て支援 公職：札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会委員、札幌市市民まちづくり活動促進テーブル委員
民間	いりさわ たくや 入澤 拓也	一般社団法人北海道IT 推進協会 会長 エコモット株式会社 代表取締役	専門：IT・情報 公職：札幌市CDO補佐官、中小企業振興審議会委員、さっぽろ未来創生プラン推進有識者会議委員
	りゅう こうざぶろう 笠 康三郎	有限会社緑花計画 代表取締役	専門：都市基盤の緑地計画・設計、自然環境の保全・再生 公職：札幌市大通花壇コンクール審査員、北海道大学農学部非常勤講師
行政	いしかわ ひろたか 石川 啓貴	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 公園利用推進官	
	ただ たかし 玉田 隆志 令和5年11月～令和6年2月	国土交通省 北海道開発局 事業振興部 都市住宅課 都市事業管理官	
	ささき ひろかず 佐々木 博一 令和6年2月～令和6年4月		
	かさまつ しゅうご 笠松 周悟 令和6年4月～		

## ◎ 検討の過程

年	月	札幌市緑の審議会	大通公園・中島公園あり方検討会
令和5年 (2023年)	9月	■第94回 (9/19) ・検討開始の報告	
	11月		□第1回 (11/2) ・大通公園：大通公園の魅力と機能の向上について ・中島公園：今あるみどりや芸術・文化を磨き高めることについて
	12月		□第2回 (12/18) ・大通公園：「いこい」と「にぎわい」の両立について ・中島公園：新たな機能により魅力を向上することについて
令和6年 (2024年)	3月		□第3回 (3/18) ・大通公園：沿道と連携したみどりの軸の強化について ・中島公園：周辺エリアも含めて活性化させることについて
	5月	■第95回 (5/14) ・検討状況の中間報告	
	6月		○中島公園 現場見学会 (6/17)
	7月		□第4回 (7/11) ・大通公園：大通公園のあり方の検討について ✓誰もが利用しやすい公園づくり ✓大通公園のあり方(骨子案) ・中島公園：中島公園の現場視察を踏まえた検討について
	8月		○大通公園のあり方検討に係るオープンハウス (8/2～8/3)
	10月		□第5回 (10/21) ・大通公園：大通公園のあり方(素案)について ・中島公園：中島公園魅力アッププラン(素案)について
令和7年 (2025年)	1月		□第6回 (1/27) ・大通公園：大通公園のあり方(案)について ・中島公園：中島公園未来への魅力継承プラン(案)について
	3月	■第97回 (3/13) ・案の報告	

## 【調査概要】

- ①目的：中島公園の魅力アップの実現に向け、公園関係者にヒアリングを実施した。
- ②対象者
  - 〈指定管理者〉公園緑化協会 Kitara、豊平館、児童会館、こぐま座、天文台、体育センター、道立文学館 合計8施設・事業者
  - 〈周辺事業者〉飲食、宿泊、福祉、物販、芸術・文化・スポーツ、神社 合計17事業者
- ③聴取内容
  - 〈指定管理者〉現状や直近の取組、今後の取組のアイデア、公園の魅力アップに必要なこと、公園関係者や周辺事業者との関係性の構築など
  - 〈周辺事業者〉利用者動向、公園周辺にあることのメリット、公園との関係性、公園の改善点、公園の利用促進など
- ④実施期間：令和6年9月18日～10月29日

## ◆ 指定管理者に対する調査

### ○ 現状や取組

#### 【利用者の状況】

##### 外国人観光客の増加

- ・道内から3割、道外から6割、海外から1割の割合ではあるものの、外国人観光客は増加傾向。（豊平館）
- ・公演内容で利用者層が異なる。全体的に高齢者が多いが、子どもの割合が増加傾向。（Kitara）
- ・海外の方の利用が増えている。（児童会館/こぐま座）
- ・全体の利用者数が増え、外国人観光客と市民の利用率が同じになった。また、市民がソリ遊びをしていたが、外国人観光客も遊ぶようになった。（天文台）
- ・外国人観光客は増加傾向にある。アジア系が多く、常設展を鑑賞していく。（文学館）

#### 【施設運営上の課題】

##### 駐車場の配置や管理、屋外空間の利用

- ・駐車場がない。公共交通を使えばいいものの、市電、地下鉄、バスなどでは利用できる方が限られてしまう。（豊平館）
- ・駐車場について、出入口にゲートを設置することを上層部に提案したが採用されず、管理する上で難しくなっている。（体育センター）
- ・公園内に天文台の案内板が無いので、迷う人が多い。夜間に公開していることも多く、施設に来る途中であきらめて帰る人もいる。屋外スペースの使用をもう少し簡易にもらえるとうれしい。（天文台）

#### 【直近の取組】

##### 各施設の新しい取組、活動の縮小

- ・「日本庭園茶会」を八窓庵で2日間実施。「ゆきあかりin中島公園」は、年々規模を縮小しての開催となっており、現状では9条広場でキャンドルの点灯を行うのみに留まっている。（緑化協会）
- ・JALとの連携によりKitara専属オルガニストとJALのハンドベルチームと演奏動画を撮影し、YouTubeで公開した。JALとの連携は今後発展していく可能性がある。（Kitara）
- ・指人形スタンプラリーを行っている。3回以上観劇すると、指人形を1つプレゼントする。（児童会館/こぐま座）
- ・レンタル厨房を始めた。レストランが経営できるくらい本格的な厨房を貸室と同様にレンタルで貸し出している。（豊平館）

#### 【今後の取組のアイデア】

##### ガイドツアー、若年層割引、貧困・家庭環境問題

- ・観光コンシェルジュを招いてガイドツアーを行うという意見が出ている。（緑化協会）
- ・若年層向けの割引や、雪まつりと合わせたコンサートで新規層獲得を目指している。「ファーストコンサート」など教育や福祉分野との連携を継続していきたい。（Kitara）
- ・ソーシャルインクルージョン※1に向けた活動、貧困・家庭環境問題の支援を伸ばしていきたい。（児童会館/こぐま座）
- ・外壁をプロジェクションマッピング※2、館内も写真撮影などに活用してもらってもよい（文学館）

### ○ 公園の魅力アップに向けて

#### 【必要なもの】

##### 利便・案内・休憩機能の拡充

- ・トイレ（通年）、駐輪場、駐車場、総合案内所、サイネージ※3、安全柵。（豊平館）
- ・園内に段差が多いのでバリアフリーへの移行。休憩できるベンチ。（児童会館/こぐま座）
- ・円山公園のような休憩スペース。（緑化協会）
- ・施設を拡充してほしい。（体育センター）
- ・各施設が今何をしているのか分かるような公園全体の案内板やHP。（天文台）（文学館）

#### 【必要なこと】

##### 施設間連携、市内各所との連携

- ・市民向けのイベントを増やして、認知度を上げたい。大通公園、創成川イーストとリンクしたまちづくり。（豊平館）
- ・1つの施設だけでは限界があるため、施設同士の協力が必要。Kitaraでの演奏を屋外でやれば、公園全体で楽しむことができる。バイオリンの音色に合わせて星を見ることができれば、天文台としては最高の演出になる。（天文台）

### ○ 園内・周辺事業者との連携

#### 【地域コミュニティ推進協議会の現状】

##### コロナの影響により停滞

- ・コロナをきっかけに会議の開催機会が減り、協力体制が取れていない状態にある。イベント開催のお知らせや台風などの対応で臨時的な場合に、メール連絡のみに留まっている。（緑化協会）
- ・対面での会議はコロナ以降開催されていない。定期的に会議を開催すれば、より強靱な強力体制を築けると感じている。（豊平館）（文学館）
- ・以前はお祭りやイベント時に参加していたものの、人員や予算の削減により最近では参加していない。（体育センター）
- ・活動は活発ではない。イベントの提案があれば検討する。（Kitara）（児童会館/こぐま座）（天文台）

#### 【新たな連携組織の構築】

##### 「連絡会」の結成（実証実験）

- ・今年度、推進協議会とは別に中島公園の魅力アップに向けて新しいコミュニティ（連絡会）を結成する予定がある。メンバーは、園内の指定管理者と周辺の文化施設（渡辺淳一記念館）やホテル（パークホテル、プレミアムホテル札幌）といった少数で参加者を絞る予定。推進協議会では、公園自体との距離が離れており、前向きな参加が見込めないといったメンバーも含まれていた。中島公園に特化した近隣のメンバーにすることで、より具体的で即時性のある活動につながれると期待している。（緑化協会）

#### 【周辺事業者を含めた他施設との連携】

##### 連携の課題

- ・民間施設との連携にあたり、場所の提供、金銭面、人員面での負担が大きいものは協力しにくい。スタンプラリーは負担が少なく協力しやすい。（Kitara）
- ・児童会館は、近隣の保育園・幼稚園の利用や、親子遠足等でお弁当を食べる休憩スペースとしての利用が見受けられるが、あくまで利用されているだけとなっている。（児童会館/こぐま座）
- ・連携体制については、周辺の民間事業者も加わる形が望ましい（天文台）
- ・園内施設とのコラボは、各自の展示内容などの点から考えると難しいと捉えている。公園全体でのイベントで協力する形であれば積極的に参加したい。（文学館）

#### 【市内の事業者・組織との連携】

##### 旅行会社・劇場・近隣ホテル等との連携

- ・館内で結婚式を行っている方もいるが、あくまで貸室利用なのでウェディング会社と連携してはならず、旅行会社に営業をかけて団体の入場を促している（豊平館）
- ・今後も芸術文化系の共同イベントの検討はしていく。（Kitara）
- ・こぐま座は、札幌劇場連絡会に参加しており、札幌市内の10か所の劇場と連携している。今後も演劇団体とのコラボは継続していく予定。（児童会館/こぐま座）
- ・近隣ホテルとは相互にパンフを配架し、ホテル利用者への観覧料割引を行っている。（文学館）

※1 ソーシャルインクルージョン：社会的包摂。誰もが排除されることなく社会に参画し、共に生きていくという概念

※2 プロジェクションマッピング：建物や物体の表面に映像を投影し、実物と映像を融合して立体的な演出を行う技術

※3 サイネージ：デジタルディスプレイや看板を利用して、広告や情報を表示する手法

○ 指定管理者一覧（令和7年度）

中島公園（全体）

<指定管理者>  
公園緑化協会・中島公園コンソーシアム  
<施設概要>  
池の水景や藻岩山への眺望を活かした「池泉回遊式庭園」として長岡安平が設計。都心部に立地し、広大な緑地と歴史性を持つ。  
<運営・体制等>  
・公園（各施設の敷地を除く）の維持管理のほか、移動販売等の自主事業も実施。  
・事務所職員は5名のシフト制で3～4名が勤務。  
<所管課>  
札幌市建設局みどりの管理課



札幌コンサートホールKitara

<指定管理者>  
（公財）札幌市芸術文化財団  
<施設概要>  
1997年に開館した北海道初の音楽専用ホール。世界水準の音響を誇り、札幌交響楽団が本拠地とする。  
<運営・体制等>  
・音楽芸術の振興及び音楽を通じた国際交流の推進等を図る。  
・施設の維持管理、貸館、主催公演、広報、営業等を担う。  
<所管課>  
札幌市市民文化局文化振興課



豊平館

<指定管理者>  
（一財）北海道歴史文化財団  
<施設概要>  
1881年に開館。その後北1西1から現在地へ移築。国指定重要文化財であり、現存する木造ホテルとしては日本最古の建物。  
<運営・体制等>  
・館内の観覧のほか、貸室や厨房レンタルを行っている。  
・スタッフ8名で運営。  
<所管課>  
札幌市市民文化局文化財課



中島体育センター

<指定管理者>  
（一財）札幌市スポーツ協会  
<施設概要>  
1980年に「北海道立中島体育センター本館」として開館し、その後札幌市に移管。別館は2000年に廃止された。  
<運営・体制等>  
・各種教室の開催や一般開放のほか、ランニング、歩くスキー向けサービス等を提供する。  
・職員6名、受付5名、シフト制で運営。  
<所管課>  
札幌市スポーツ局施設課



中島児童会館

<指定管理者>  
（公財）さっぽろ青少年女性活動協会  
<施設概要>  
1949年に日本初の公設児童会館として開館。  
<運営・体制等>  
・月曜日から土曜日に開館。0歳から18歳までの子どもが利用できる。  
・職員9名で運営。  
<所管課>  
札幌市子ども未来局子ども企画課



こども人形劇場こぐま座

<指定管理者>  
（公財）さっぽろ青少年女性活動協会  
<施設概要>  
1976年に日本初の公立人形劇専門劇場として開館。中島児童会館に隣接。  
<運営・体制等>  
・公演は主に土日祝日、長期休みの時期は平日も開催。年間約200回の公演を行っている。  
・職員4名で運営。  
<所管課>  
札幌市子ども未来局子どもの権利推進課



天文台

<指定管理者>  
（公財）札幌市生涯学習振興財団  
<施設概要>  
1958年に北海道大博覧会の「雪印乳業館」として開館し、その後札幌市に寄贈。口径20cmの屈折望遠鏡を備える。  
<運営・体制等>  
・年間60日程度の夜間公開のほか、昼間公開も行っている。観望料無料。  
・パート職員4名が交代で運営。  
<所管課>  
札幌市教育委員会生涯学習推進課



北海道立文学館

<指定管理者>  
（公財）北海道文学館  
<施設概要>  
1995年に開館。北海道ゆかりの文学者や作品に関する資料を展示している。  
<運営・体制等>  
・展覧会やイベントを定期的実施するほか、北海道に関係する文学資料の収集・整理・保存、調査・研究、教育普及等を行う。  
・常勤9名、非常勤4名のスタッフで運営。  
<所管課>  
北海道教育庁文化財・博物館課



## ◆ 周辺事業者に対する調査

### ○ 現状や取組

#### 【利用者の状況】

##### 外国人観光客の増加

- ・外国人は毎日来店しており、コロナ前より増えている。6割が外国人利用。（飲食）
- ・メニュー表の多言語表記や、コミュニケーションを取れるスタッフを採用している。（飲食）
- ・年齢層は幅広い。住宅街なので周辺住民が多いが、Kitaraから来る方や、観光客も来る。（飲食）
- ・ピークは7～8月。台湾、香港、中国、韓国が多く、雪を見に来る需要はあるが、夏ほどではない。（宿泊）
- ・海外のゲストは4割で、このうちの約3割が団体旅行。（宿泊）
- ・ビジネスホテルと銘打っているが、8割ほどが観光客で家族やカップルが多い。（宿泊）
- ・ゴールデンウィーク、お盆、年末年始、クリスマスが繁忙期。連休などは利用が増える。（物販）
- ・外国人が来店することはあるものの、買わないで帰ることが多い。メニューは日本語表記のみ。（物販）
- ・外国人の利用はここ数年で増えている。簡単な英語やジェスチャーで対応。（物販）
- ・ゴールデンウィークやお盆の時期と中国が連休の時などは来館者が多い。（芸術・文化・スポーツ）
- ・パンフレットは日英中韓の4か国語、キャプションは日英中の3か国語で対応。（芸術・文化・スポーツ）
- ・現在は劇場に外国人は来ていないが、英語の字幕を付けている公演がある。（芸術・文化・スポーツ）

### ○ 中島公園付近という立地性

#### 【メリット】

##### 立ち寄りやすさ、駅近、みどり環境

- ・周辺にホテルが多く、宿泊客が立ち寄りやすく、緑が多く、環境がよい。（飲食）
- ・Kitaraが近いので、鑑賞帰りの方が来る。（飲食）
- ・公園を見下ろす眺望が優れている。眺望目的に泊まれる方もおり、リピーターもいる。（宿泊）
- ・地下鉄駅、中島公園が近いので入居したいという方も多い。（福祉）
- ・バス停が近いから利用するというお客さんがいる。（物販）
- ・中島公園で行われるイベントに参加できる。（芸術・文化・スポーツ）
- ・交通の便が良い、緑が多い、歴史性・文化性が感じられる。（芸術・文化・スポーツ）

#### 【デメリット】

##### ゴミ、混雑、違法駐車

- ・周囲で若い人がゴミやたばこの吸い殻をポイ捨てする。（飲食）
- ・アクセスが不便。（飲食）
- ・花火・祭りの際は、店前にゴミのポイ捨て、違法駐車をする人が多い。（物販）
- ・メーデーやマラソンがあるときは、自動車移動しにくくなり、配達時に支障がある。（物販）
- ・中島公園は夜暗いため怖い印象。（芸術・文化・スポーツ）
- ・イベントがあると近隣の駐車場が埋まり、当館利用者の駐車スペースがない。（芸術・文化・スポーツ）

### ○ 公園の改善点

#### 【園内環境】

##### 樹木、バリアフリー、休憩施設

- ・樹木が鬱蒼としている場所があり、対応が必要である。（飲食）
- ・高齢化が進んでいるので、バリアフリー化や健康づくりという視点も重要である。（飲食）
- ・夜が暗いため夕方以降利用者が少なく、防犯面で課題がある。民間施設も進出しにくい。（飲食）
- ・子どもの遊び場がほしい。（飲食）
- ・東屋やベンチなど休憩施設が少なく、老朽化しているものが多く、園路が狭い場所がある。（福祉）
- ・歩けない児童や多動な児童のためにも車を止められるようにしてほしい。（福祉）
- ・芝生が一部剥げているので、道を作るなどの整備をして欲しい。（物販）
- ・池の水をもっときれいにしてほしい。（物販）

### ○ 中島公園との関係性

#### 【これまでの関わり】

##### 飲食イベントの参加、マップの配布、ガイドツアーの実施、フォト撮影

- ・移動販売車を出店し、飲食イベントに参加している。（飲食）
- ・オリジナルの魅力発見パンフレットとウォーキングマップを用意している。（宿泊）
- ・「中島公園散策ガイドツアー」を参加者がいるときに不定期開催している。（宿泊）
- ・飲食イベントがある際には、自社農園で自然栽培・有機栽培の野菜の販売などを行っている。（宿泊）
- ・「中島公園の四季」をテーマにフォトコンテストを毎年開催している。（宿泊）
- ・冬はスノーシュー※4、そりなどを貸し出している。道外・海外からのゲストから好評である。（宿泊）
- ・Kitaraで演奏する楽団と契約を結び、楽団員の宿泊を安くする取組をしている。（宿泊）
- ・子どもたちを芝生広場で遊ばせている。天文台の坂や鴨々川に連れて行くこともある。（福祉）
- ・撮影場所として中島公園をはじめ豊平館や日本庭園を利用している。（物販）
- ・北海道立文学館の研修生を受け入れ、収蔵物の貸出しなどを行っている。（芸術・文化・スポーツ）
- ・子ども向けの取組として、こぐま座との連携活動を行っている。（芸術・文化・スポーツ）
- ・「中島地区振興会」という組織があり、パークホテルに事務所がある。周辺事業者を中心として、そこまで活発ではないがイベントを行っている。（神社）

#### 【これからの関わり】

##### イベントへの参加、飲食施設の整備、パンフレットの配架

- ・中島公園内だけでなく、鴨々川まで拡大したイベントであれば店として協力したい。（飲食）
- ・飲食に関する自社商品を取り扱えるようなイベントがあれば、前向きに参加したい。（飲食）
- ・中島公園でのイベントに協力し、地域社会と交流し、宿泊者の方にも勧めたい。（宿泊）
- ・コロナ前はいろんなイベントをやっていたが、人手の問題もあり様子見をしている。（宿泊）
- ・ゆきあかりのようなイベントをコロナ前の規模に戻してほしい。（芸術・文化・スポーツ）
- ・収益や来客の増加が見込まれるようなメリットを感じられれば参加したい。（芸術・文化・スポーツ）
- ・園内における飲食施設の整備に興味はある。（飲食）
- ・イベントや中島公園の情報を掲載したパンフレットを置くことは可能。（飲食）
- ・施設にパンフレットを置くことはでき、情報提供があれば入居者の方へも教えたい。（福祉）

### ○ 公園の利用促進

#### 【ソフト事業】

##### ライトアップ

- ・鴨々川沿いは桜が綺麗なため、活用した方がよい。（飲食）
- ・夜桜のライトアップや花壇の管理など、花を活用した方がよい。（物販）
- ・中島公園をライトアップする事業。公園は明るくなるし、治安も向上する。（宿泊）
- ・イルミネーション・ライトアップなど写真映えしそうなイベントの実施。（物販）
- ・菖蒲池をもっと活用した方がよい。（芸術・文化・スポーツ）

##### イベント・情報発信

- ・ゆきあかりのような、冬のイベントに力を入れてほしい。（物販）
- ・遅い時間までのビアガーデンなど大人が楽しめるイベント。（物販）
- ・外国人観光客が散策しているため、外国人が感じた魅力を国内の観光客向けに情報発信。（飲食）
- ・花壇やキッチンカーの出店に関するわかりやすいお知らせがほしい。（福祉）
- ・撮影許可があれば、利用者に撮影プランとしてお勧めできる。（物販）

#### 【環境整備、ほしい機能】

##### 駐車場、案内所、飲食店

- ・トイレや駐車場は有料でもあった方がよい。（飲食）
- ・乳幼児向けの遊具や広場、屋根付きドッグラン、駐車場。（福祉）
- ・周辺の駐車場をわかりやすく示す案内や防犯カメラの設置、照明の増設。（神社）
- ・案内所を開設し、スノーシューや歩くスキー、雪遊びグッズ等のレンタルを行えば需要がある。（宿泊）
- ・園内の飲食店は冬期間が休業となるため、冬も利用できる飲食店があるとよい。（物販）

※4 スノーシュー：雪上を歩くために靴に装着する歩行具で、冬のアウトドア活動や雪山登山などで使用される。

## 1 魅力アップコンテンツ試行運營業務

### ■ 本業務の目的

- 公園関係者等と連携しながら、市民や国内外からの来訪者のニーズに応え、中島公園の魅力を最大限に活かした『魅力アップコンテンツ』を試行し、参加者等の意見を把握する。

### ■ 全体スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月
(1) 中島公園における『魅力アップコンテンツ』の試行実施					
① 実証実験の実施準備について	コンテンツ等の素案検討 ※コンテンツ、情報発信、役割検討	調整 ※役割分担、実施計画、 機材等の確認	調整 本番実施	振り返り	
② 実証実験の実施について		情報発信			
③ 実証実験の開催結果の検証について			アンケート作成 実施	集計・分析	反映
④ 連絡会の開催		連絡会		連絡会	
(2) 委託者との打合せ協議	打合せ	打合せ	打合せ	打合せ	打合せ
(3) 報告書の作成				報告書	12/6工期

## 2 実施準備

### ■ 地域特性の整理

- 中島公園を札幌市のセントラルパーク的総合公園と位置づけ
- 現在の中島公園には、自然が創り出す豊かなみどりのほか、札幌の歴史的資産である豊平館や八窓庵、音楽コンサートホールKitara、天文台、子ども人形劇場・こぐま座、文学館など様々な機能をもつ。
- 公園周辺には富裕層も訪れるホテルも建設され、中島公園が札幌の都市ブランドの形成につながる重要な公園である。

### ■ 園内関係施設や周辺事業者等との調整（「連絡会」の開催）

- 園内の各施設や周辺事業者のほか、本業務に参加する関係者を集めて「連絡会」を開催し、コンテンツの内容や情報発信について調整
- 「連絡会」においては、相互のつながりを深めるとともに、普段それぞれが感じている中島公園の課題や改善策等を共有し、今後の魅力アップに役立てる



### ■ 情報発信

媒体	掲示・配架先	内容
チラシ(2,200部)	市内ホテル・観光案内所等	試行コンテンツ一覧・概要
タブロイド	北海道新聞『さっぽろ10区』	試行コンテンツ概要記事
SNS	Facebook・Instagram	各事業者・業務受託者アカウント

## 3 コンテンツ概要

### ■ 名称

『秋の中島公園  
コミュニティ・フェスタ』

### ■ 日程

- 令和6年10月24日(木)
- 令和6年10月25日(金)
- 令和6年10月26日(土)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
10/24 木		アートガイドツアー			観光ガイドツアー		お散歩ガイドツアー					豊平館ミニコンサート
10/25 金		アートガイドツアー			観光ガイドツアー		お散歩ガイドツアー					
10/26 土		アートガイドツアー			観光ガイドツアー	キッズワークショップ	お散歩ガイドツアー					

コンテンツ	内容
ガイドツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内の彫刻をめぐるアートツアー60分</li> <li>市民も魅力を再発見するお散歩ガイドツアー60分</li> <li>観光客も楽しめる観光ガイドツアー90分</li> </ul>
キッチンカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌コンサートホールKitara、自由広場それぞれで開催</li> <li>温かい飲み物や焼きたて・作りたてのこだわりフードを提供し、レストエリアで飲食可能</li> </ul>
マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌コンサートホールKitara、自由広場それぞれで開催</li> <li>お散歩する犬や飼い主に楽しんでもらう衣類やおやつ、雑貨などを販売</li> <li>新たな楽しみ方としてドローン体験を実施</li> </ul>
ヨガ体験 25日・26日のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内の「芝生広場」で開催</li> <li>秋晴れの中、自然の中でヨガを楽しんでもらう</li> </ul>
キッズワークショップ 26日のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会館前で実施</li> <li>木のパーツに紐を通してそれぞれ自分好みのマリオネットを作ってもらう</li> </ul>
コンサート 24日のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊平館でヴァイオリンとピアノのコンサート60分</li> <li>ワンドリンク付きで椅子に座ってゆったりと音楽を楽しんでもらう</li> </ul>

### ■ 会場レイアウト

- 右図「青丸印」4か所に看板を設置
- キッチンカーとマルシェは、24日はKitara前で、25日・26日は自由広場で開催
- ガイドツアーは、パークホテルを出発点として開催



### 4 当日の様子

■ ガイドツアー [参加者数：15名]



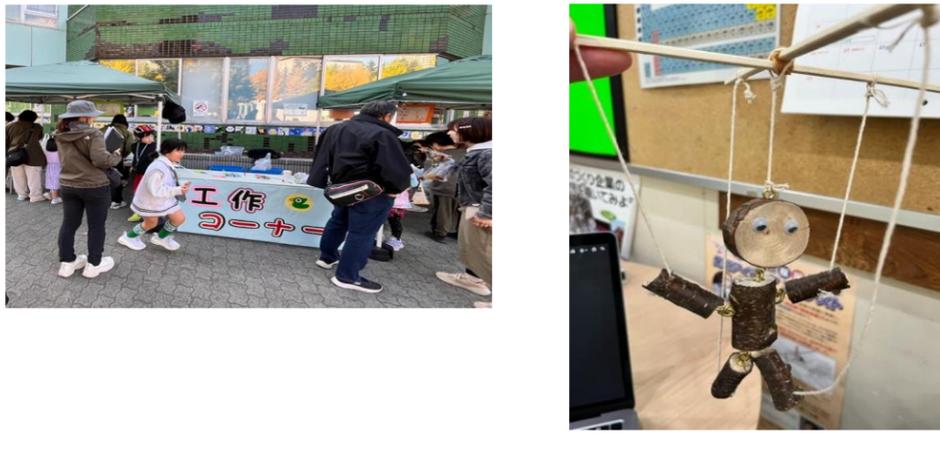
■ キッチンカー・マルシェ [利用者数：約1,050名]



■ 豊平館ミニコンサート [参加者数：41名]



■ キッズワークショップ [参加者数：約50名]



■ ヨガ体験 [参加者数：23名]

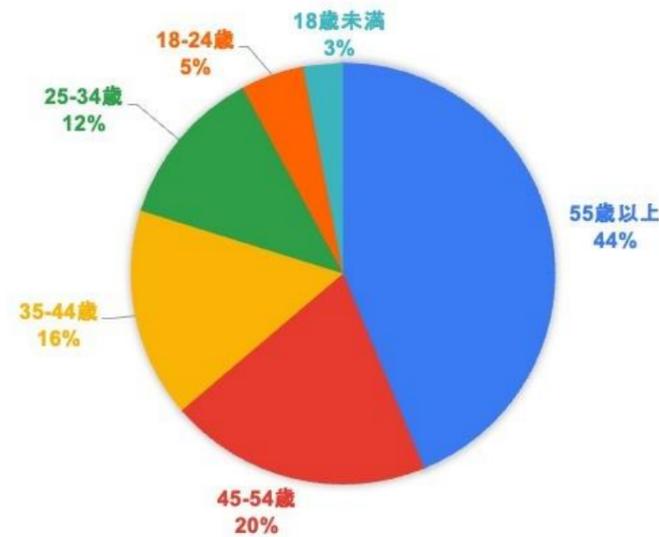


### 5 アンケート結果

【調査概要】

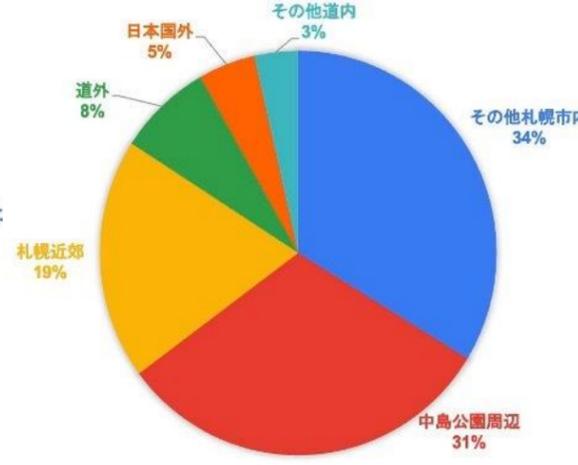
- ①目的：中島公園の魅力アップを実現するため、来園者にアンケートを実施した。
- ②回答手法：紙又はQRコードによるWEB回答。なお、外国人来園者にも対応できるよう英語も併記した。
- ③回答数：560件
- ④実施期間：令和6年10月24日～10月26日

あなたの年齢について教えてください



・年齢層が高い方から降順に構成比が並んでいる

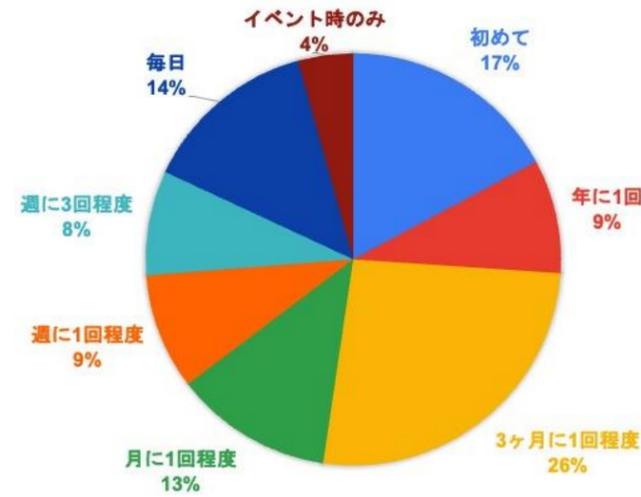
お住まいの地域について教えてください



・札幌市民は65%、外国人は5%

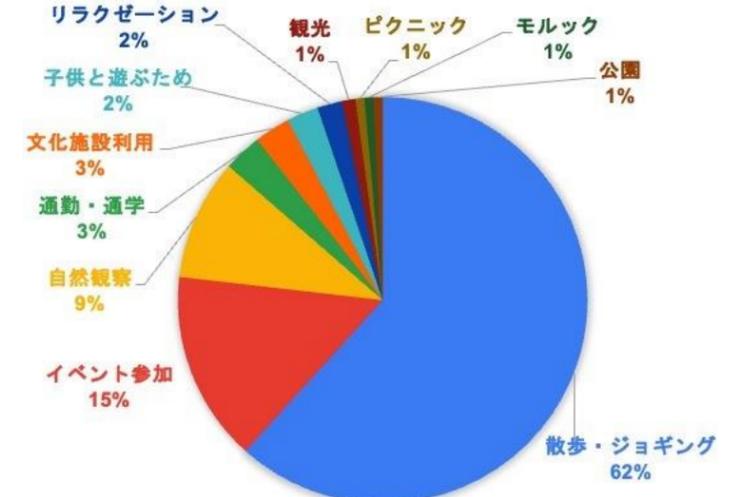
台湾	10
香港	5
韓国	4
ドイツ	2
マレーシア	2
タイ	1
アメリカ	1
シンガポール	1
その他	26
東京	12
九州	7
千葉	5
京都	4
大阪	2
関東	2
横浜	2
仙台	2
福岡	2
東北	1
愛知	1
宮城	1
埼玉県	1
川崎	1
合計	43

中島公園来訪頻度について教えてください



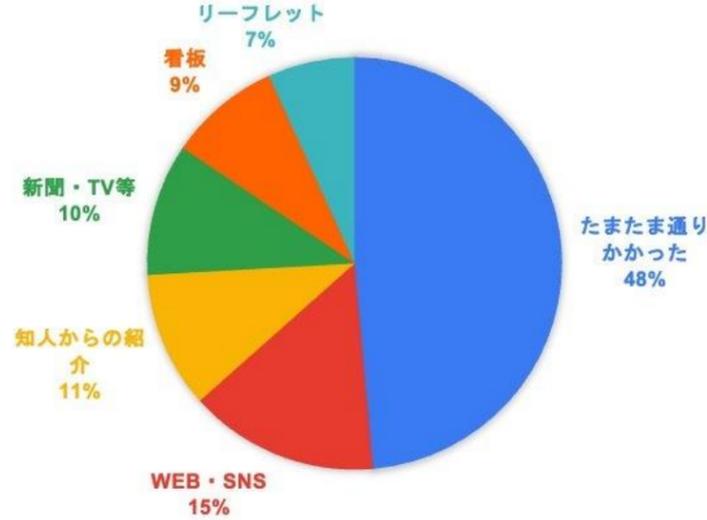
・「3ヶ月に1回程度」が最も多く(26%)、次いで「初めて」が17%、「毎日」が14%と一定数存在  
・平日と週末で%はほぼ変わらず

普段中島公園に訪れる目的は何ですか？



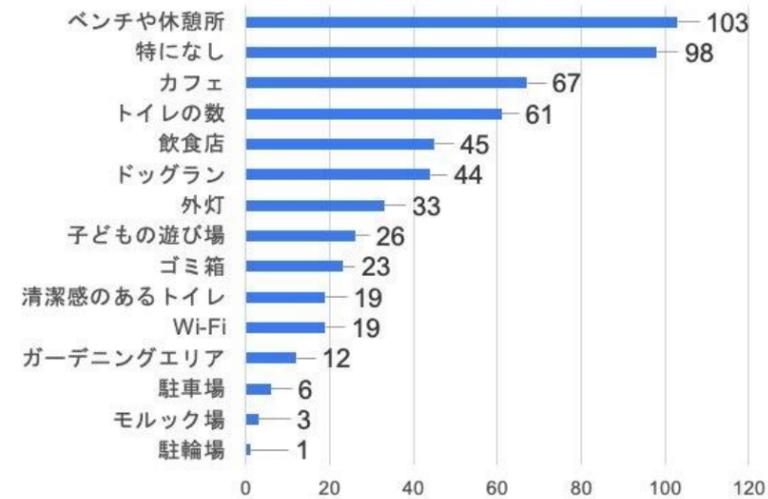
・来訪頻度が高い方ほど、「散歩・ジョギング」や「自然観察」を選択した

何でイベント情報をご覧になりましたか？



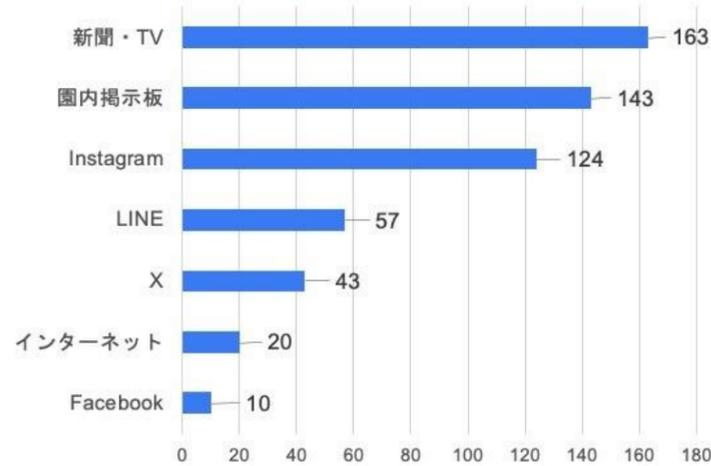
・チラシを2,200枚配布したが、「WEB・SNS」の方が効果が高かった  
 ・「たまたま通りかかった」が半数を占めていることから、園内掲示板など、公園内における公園情報の発信も重要と考えられる

中島公園に欲しい機能や設備について教えてください



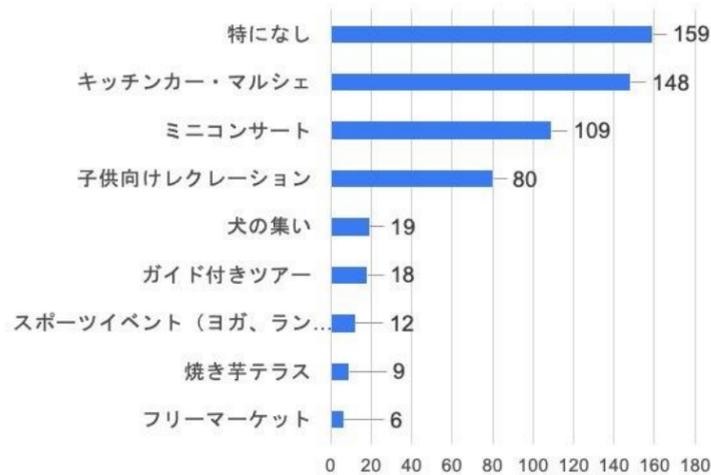
・本アンケートにおいても「ベンチや休憩所」が最も多かった  
 ・次に「カフェ」や「飲食店」も多く、飲食機能が求められている  
 ・トイレに関する希望も多く、「トイレの数」とともに「清潔感のあるトイレ」を求める声が多かった

イベントやアクティビティの情報をどのように受け取りたいですか？



・本アンケートの回答者の年齢層が高いからか、「新聞・TV」が最も多かった  
 ・SNSの中では「Instagram」が最も多かった。中島公園の景観の良さ、写真映えを考慮すると、「Instagram」との相性がよいと考えられる。

今後行われてほしいイベントやアクティビティはどのようなものですか？



・「キッチンカー・マルシェ」が最も多かった。公園内に飲食機能が少ないことも影響している可能性がある。  
 ・「ミニコンサート」の希望も多い。特に、今回の豊平館ミニコンサートの参加者からは、再度実施してほしいとの声が多く聞かれた。  
 ・子育て世代からは、「子供向けレクリエーション」の希望が多かった。子どもが利用・参加できるイベント等は、子育て世代にとって重要である。

■ 主な自由意見（128件）

- ・イベント増やす。キッチンカー増やす
- ・冬に子供が遊べる施設が欲しい
- ・ガイドツアーを体験することで、知らなかった設備や歴史を知ることができた
- ・スタバ入れてほしい
- ・このままがいい
- ・中学生以上でも遊べるアスレチックがほしい
- ・ごはん屋さん（安い）を作ってほしい
- ・外灯ほしい。ウルトラマンショーしてほしい。
- ・こういうイベントを増やしてほしい
- ・ちょっとしたカフェがほしい
- ・カラスが多い
- ・都会の中の素敵な公園であってほしい
- ・公園の景観が素晴らしい特に秋。コンサート、本当に素晴らしかった！！！！
- ・景観を楽しめるカフェがあればいいなと思います
- ・建造物よりはみどりや水辺を生かした場所であってほしい。都会の中にあって貴重な空間だと思います。
- ・どうしても大通公園に比べて見劣りするが、とっても魅力的な場所だと思う
- ・今日の夜のような気軽に行けるコンサートを豊平館ですると、みんな豊平館に来やすいと思います。今夜はとても楽しかったです。定期的にすると平日でもくると思います。
- ・緑がこのままきれいであってほしい
- ・外国の木を減らしてほしい
- ・人が多く来すぎないところが良い
- ・夜くらいから明るくしてほしい
- ・休めるところを増やしてほしい。食事の場所も増やしてほしい。
- ・木が大きいから切った方が良い
- ・このまま平和な公園であってほしい
- ・きれいなトイレ、授乳室がたくさんあると嬉しい
- ・子供と遊べるところが欲しい
- ・駐車場がないから行きづらい
- ・夜の場内を明るくして安全にしてほしい
- ・いろいろイベントや設備が増えても自然はこのままキープしてもらえたら、と思います
- ・中島公園さよう！
- ・紅葉のライトアップはすごく良いと思います

## 6 各コンテンツ提供者の声

### ■ ガイドツアー

- ・天候にも恵まれ、告知期間が少なかつたにも関わらず多くの人々が参加してくださり、活気がありました。ガイドツアーでは、参加していただいた全員にとって新たな発見があり、より深く理解していただくことができました。特に、歴史的な背景や地元の人しか知らないような穴場スポットは、参加者たちの興味を引き、札幌に対する愛着を深めることにつながったと考えられます。今後、創成イーストや二条市場などつなげて、歴史的な場所を巡るツアーを企画できたらいいと思います。
- ・時代とともに変わってきた経緯のわかりやすい掲示物があると面白いのではと思います。また、公園内のベンチや東屋を増やすことで、より快適に過ごせる空間になるのではないのでしょうか。ニューヨークのセントラルパークのように、ベンチや休憩スペースが充実している公園を参考に、中島公園もより多くの人々が利用しやすい公園に改善できればと感じました。福岡の大濠公園にあるスターバックスコーヒーは水辺の景色と相まって市民から好評を得ており、中島公園も同様の施設があれば、より多くの人々に利用されると思います。

### ■ キッチンカー・マルシェ

- ・告知期間が短かったため、SNSでの情報拡散が十分に行えず、参加者数が伸び悩んだという点は課題として挙げられます。今後のイベントでは、中島公園の公式SNSを立ち上げ、イベント情報を積極的に発信していけるのではと考えています。
- ・地域の人々にとって公園は、単なる憩いの場ではなく生活の一部であり、愛着のある場所であると気づかされました。そのため、中島公園も、地域の人々が主役となり、歴史や文化を大切にしたい心に響くようなコンテンツを作り出し、愛着を持って利用できるような場所にしていけるのではと考えています。地域の企業に協賛してもらいベンチを設置するなど、地域の人々の意見を聞きながら、公園をより良くしていくための取組はいろいろあると可能性を感じています。
- ・ドローン体験コーナーや雪を作る機械を用意したところ、興味を持ってくださった方がいらして、特に外国人の方から関心を集めました。中島公園には外国人観光客が多く訪れていること、そして、気軽に立ち寄れるコンテンツが人気であることを実感しました。

### ■ ヨガ体験

- ・北海道での10月末のヨガというイメージがまだ定着していないなど、いくつかの課題があったものの、参加者からの反響はとてもよかったです。今回、公園の芝生の良さをすごく実感できたので、中島公園でのヨガイベントを継続的に開催したいと考えています。SNSを活用した広報や、ターゲット層に合わせた情報発信の重要性を感じたので、今後はより効果的な活用ができると思います。

### ■ キッズワークショップ

- ・中島公園に児童会館があるという環境、資源を有効活用することで、多くの市民や観光客を取り込み公園全体の魅力アップにつながると考えます。魅力的な環境の中でコンテンツを行うことが、やがて多くの人々を魅了し、来訪者の増加につながり、札幌のセントラルパークへの発展に大きく貢献するものと考えます。
- ・キッズワークショップの意義として、遊びの中に学びを取り入れることで子どもたちの学習意欲を高め、他の子どもたちと一緒に活動することで社会性や協調性を養うことができます。また、自然の中で遊ぶことを通して、子どもたちに環境問題への関心も高め、持続可能な社会の実現に向けた意識を育むこともできます。子育て中の親にとっては、安心して子どもを遊ばせられ、幾分か負担軽減にもなるのではないのでしょうか。
- ・今後、子ども向けコンテンツを実施する場合、ワークショップや自然観察会、清掃活動や植樹活動などが考えられます。また、地域住民にも参加いただくことで、世代間交流を促進し、地域コミュニティの活性化にも貢献できると思います。なお、子ども向けのため、十分な安全対策を講じることや、年齢層を考慮したコンテンツ内容とすることも重要です。

### ■ 豊平館ミニコンサート

- ・告知期間が短く集客について不安を抱いていたものの、予想以上に多くの方が来場してくれました。次回以降があれば、ターゲット層を絞り、テーマ性のあるコンサートにすることで、より多くの人々に楽しんでもらえるのではないかと考えています。10月は日が暮れるのが早く、特に子ども連れの人にとっては参加しにくい時間帯だったため、今後は時間帯を工夫する必要がありそうです。キッチンカーなどと連携して来場者が楽しめるようなイベントを企画することで、より多くの人々に来場してもらえるのではないかと感じました。

## 7 中島公園魅力アップコンテンツ試行運営連絡会

### 【目的】

『秋の中島公園 コミュニティ・フェスタ』の開催内容を情報共有するとともに、普段感じている中島公園の課題や改善策などについて意見交換を行い、今後の魅力アップに役立てる。また、対面で開催することにより、コミュニケーションの場とし、相互のつながりを深めるきっかけとする。

### ■ 主な出席者

札幌市
札幌市公園緑化協会（中島公園管理事務所）
札幌コンサートホール Kitara
中島児童会館/こども人形劇場こぐま座
中島体育センター
天文台
北海道立文学館
渡辺淳一文学館
札幌パークホテル
プレミアホテル中島公園札幌
札幌彫刻美術館友の会
各種コンテンツ提供者など

### ■ 連絡会の様子



### ■ 第1回連絡会

- 日 程：令和6年10月3日
- 場 所：北海道立文学館 会議室
- 主な議題：『秋の中島公園 コミュニティ・フェスタ』の開催概要について
  - ：大通公園・中島公園あり方検討会について
  - ：中島公園地域コミュニティ推進協議会について
  - ：自己紹介・意見交換
- 留意事項：コロナ禍後に関係者が一同に介する場としては、初めての機会になった。

### ■ 第2回連絡会

- 日 程：令和6年11月8日
- 場 所：北海道立文学館 会議室
- 主な議題：『秋の中島公園 コミュニティ・フェスタ』の開催結果について
  - ：情報発信の課題と今後に向けた展望について
  - ：意見交換
- 留意事項：関係者が定期的に集まれる場やコーディネーター役は非常に重要であり、継続して開催することに意義があることを確認した。

■ 主な意見

<園内施設関係者>

- ・中島公園は札幌を代表する公園であり、場所や施設によって様々な特色を感じる。コロナ収束により、インバウンドや国内からも多くの観光客が訪れるようになってきた。コロナ以前は中島公園地域コミュニティ推進協議会というものが行われ、各指定管理者の方々と協議の上で利活用を考え、雪あかりなどのイベントを開催してきた。また連携して利活用について積極的に考えたい。
- ・事前に聞いていたよりも大きく企画されていたことを知り驚いている。
- ・私の施設も広報・宣伝が今後の課題だと思っている。
- ・地域コミュニティ推進協議会は人手、お金、準備の問題などあるが、それぞれの事情を聞きながら参加しやすい形を再構築していく必要がある。
- ・地域コミュニティ推進協議会がコロナの時から集まれなくなってフェードアウトしてしまった。またどうやって再構築していくのかは課題だと思っていた。
- ・施設単体では発信力が弱く、ターゲットも広がっていかないの、みなさんと知恵を絞りながら、イベントを行えると良い。
- ・事前に情報が共有されれば、タイアップすることや上映を入れるなど、様々な企画が考えられるかもしれない。
- ・外国人親子の利用が増えている。言葉はわからなくても、楽しんでいる様子が見られる
- ・NETFLIXのドラマで、特にアジア人から人気になった。ポテンシャルがあり、ソリや歩くスキーなど冬も楽しむ素材もあり、コンテンツは揃っているので、アイデアを持ち寄ればいいのではと感じる。
- ・一過性ではなく、このような連携が年に1回でもあると顔もわかるし、この部分を一緒にやりましょうというような協力ができる。魅力的なコンテンツはいっぱいあるので、その強みを活かしていくべき。今回のイベントなどがわかりやすくて良いかもしれないと感じた。
- ・お恥ずかしい話、公園で迷ったことがあるので、コアなところに目立つ案内板があると助かると思う。
- ・それぞれいろんな感じ方がある中で、賑わいを望む声もあれば、鳥も自然も大事に静かにそのままを望む声もあり相反する価値観がある。人が集まることを嫌がる人もいる中で100%満足させるのはなかなか難しく、お互いどこか妥協点で、気持ちよく使ってもらえるか方向を探りたい。
- ・いろいろなことを含めての実証実験だったので、今後の検討材料になったのではないかと。全部のコンテンツに興味がある人は少ないと思うが、どこに興味があるのかを探るという意味ではすごく価値があるものだと感じる。
- ・たくさんのコンテンツをまとめるのは難しいので、年間を通してそれぞれの施設との調整をして情報発信できる枠組みが作れるような調整役という一つの立場もあっていいのではと感じた。

<周辺施設関係者>

- ・地域コミュニティ推進協議会の活動で感じていた課題は発信力。雪あかりイベントの時は、頻度としては年に2~3回、メールで意見を募るといったことはあったが、意見交換はあまりなく、内容を詰めていく時間がなかなかとれなかった。
- ・ゲストの45%が海外からであり、団体も多いが個人でも関東からと同じくらいおり、ゆとりを持って滞在している。観光でふらっと何も決めずに考えずに行動する人も多く見かける。海外の方は朝方のマルシェで野菜を買う人が多く、朝食としてミニトマトなどを食べながら、「これからどこに行こうかな」とゆっくり歩いていくようなイメージである。
- ・国によって特徴があり、日本政府観光局（JNTO）のほか、台湾はYouTube、韓国ならNAVERなどで検索されることが多い。
- ・雪がチラチラ降る中でスキーを滑る外国人のインスタグラムを見たことがある。あれを見ると、世界中から集まってくる可能性がさらに広がると感じている。
- ・通勤時に足元を見ると犬のフンがたくさんあったりすることもあるので、良い思いをしていない人もいると想像している。
- ・今回のイベントについて、SNSで告知したり、パンフレットを置いたところ、お客様の声としては、行ってみたいが時間がない、キッチンカーも場所的に距離があって難しい、ということ聞いた。
- ・ライトアップのイベントが一番集客的に大きかったので、それとリンクできると良かった。時間帯が違ったのもあるが、同じ時期だっただけに、連携がなかったのはもったいないと感じた。

<各種コンテンツ提供者など>

- ・創成イーストでは、古き良き、人情味を感じられるような雰囲気や世界観、見え方を大事にしている。世界観込みで楽しんでもらう方が質は高まるのかなと感じる。
- ・札幌市ではワンちゃんとお出かけできるイベントが少ないと感じており、飼い主さんもワンちゃんも一緒に楽しめるイベントが増えたらいいなと思っている。綺麗な公園でルールを守りながら楽しめるようなものを作っていきたい。
- ・地域の事業者に出店いただき、地域の人々が好むものを地域のストーリー性を持って出すことで、一層喜んでくれる、満足してくれるのかなと感じる。
- ・言葉の問題は課題ではあるが、英語や中国語を用意して100%変換したとしても、満足度が100%というわけではない。今できることは、完璧な人材や言語でなくていいので、地元の人と触れ合える体験型の何かを提案できればいいのではないかと。純粋に国際交流は楽しいはずであり、それができるのは中島公園ではないかと思っている。
- ・民泊を運営しているが、そこで感じることは、アジア人やアメリカ人が多く、皆コミュニケーションを求めており、食事で交流するうちに友達になって一緒に出掛けて一緒に帰ってくることもある。通じ合うのが楽しいということは万国共通である。

8 総括

ア 情報発信

- ・公園の魅力伝えるため、SNSの活用は有効である。中島公園の景観の良さや写真映えを考慮すると、特に「Instagram」との相性がよい。
- ・「たまたま通りがかる来訪者」も少なくないことから、イベント情報などを伝える園内掲示板など、園内で情報をチェックできる工夫も効果的である。この場合、外国人向けに多言語化に対応した方がよい。
- ・各施設においても、単独での情報発信に課題を感じており、やはり一括的な発信が切望された。

イ 園内に欲しい機能・設備

- ・アンケート結果を見ると、「ベンチや休憩所」が最も多く、「カフェ」や「飲食店」も上位である。
- ・「トイレの数」や「清潔感のあるトイレ」を望む声も多く、自由意見においても「トイレ」に関する記載が散見された。一般的な公園トイレというより、清潔感を感じられるようなきれいなトイレが求められている。
- ・「特になし」が2番目に多い。自由意見から、今のままの公園を望んでいることがうかがえる。

ウ 魅力アップにつながるコンテンツ

- ・今後のイベントとして、「キッチンカーやマルシェ」、「ミニコンサート」、「子供向けレクリエーション」が期待されている。飲食機能が少ないこと、中島公園は音楽と相性がいいこと、子育て世代にとっては子どもが遊べる場所が切実であることなどが理由として挙げられる。なお、飲食機能については、常設店の希望も多い。
- ・ガイドツアーについては、参加者数自体は少なかったが、造詣を深めながら歩くことで中島公園の再発見があり、愛着を深めたりファンを増やしたりする効果があると考えられる。
- ・各施設に対してイベント開催日を早めに伝えることにより、各々が同日程で独自企画を検討できる可能性がある。
- ・同時期に開催されたライトアップイベントは、マスコミが連日取り上げたこともあり、集客力が非常に大きかった。豊平館ミニコンサートも夜に開催したが、参加者の満足度が極めて高かったことから、夜のイベントも新たな魅力の掘り起こしにつながる可能性を秘めている。

エ 園内及び周辺施設の連携体制

- ・地域コミュニティ推進協議会がコロナ禍以降停滞していたため、連絡会の開催は非常に効果的であった。対面で顔の見える関係を築け、連携・協力しやすくなるとの声が多数聞かれ、議論も活発であった。一過性ではもったいなく、継続すべきとの声も聞かれた。
- ・マネジメント体制にも様々な形態があるが、いずれにの体制においてもコーディネーターの立場・役割が重要である。

1 上野恩賜公園（東京都）

事例のポイント

- ・公園周辺、住民との連携
- ・園内施設の連携組織と各種イベント
- ・民間活力の導入(設置管理許可制度※1)

【公園概要】

- ・概要：2023年に開園150周年を迎えた日本の都市公園を代表する都立公園。公園の内外に歴史的建築物や文教施設が多数あり、一帯が文化・芸術の集合地域を形成している。
- ・所在地：東京都台東区上野公園
- ・面積：53ha
- ・開園：1873年
- ・運営者：東京都（直営）
- ・園内施設：東京文化会館、上野の森美術館、日本芸術院会館、国立西洋美術館、国立科学博物館、東京国立博物館、東京都美術館、上野東照宮、韻松亭、上野精養軒、スターバックスコーヒー、EVERYONES CAFE、上野グリーンサロン、上野恩賜公園野球場、ほか



「都立上野恩賜公園案内図」公式HPより

- ・園内組織：上野の山文化ゾーン連絡会、Museum Start あいうえの
- ・利用者の動向：
  - 来場者数 / 4,730千人 (R4)、5,070千人 (R5)
  - 四季別 / 春と秋が多い、夏と冬が少ない
  - 外国人 / 近年増加、5割程度
- ・駐車場：バス専用19台、身障者用6台

【公園周辺、住民との連携】

■ パークミーティング

- ・東京都の都市公園では、R5より地元自治体や地域住民、民間事業者等の多様な主体との継続的な「パークミーティング」を設置
- ・上野恩賜公園では、園内や近接の文化施設、台東区役所、地元観光関連団体等との連携を強化することとしている。

■ 上野桜守の会

- ・江戸時代より親しまれてきた上野の桜を守り続けるため、地元住民が中心となり、都民と行政及び関係団体等が連携し、2006年に発足。活動会員の年会費は1,000円、その他、協賛会員や役員により運営。
- ・上野の桜の「保全活動」「普及啓発活動」「更新活動」「募金活動」など。ほぼ毎年、どんな桜がどこにあるかわかる「上野公園桜マップ」を作成。



「上野公園植物のマップ」公式HPより

【園内施設の連携組織と各種イベント】

■ 上野の山文化ゾーン連絡会

- ・台東区（主催）と上野の山の文化施設などで組織される協議会。相互に交流、連携を深めることにより、上野の山を芸術・文化の拠点として発展させることを目的に、1990年に設立。
- ・毎年9月～11月に、加盟施設・団体による共同イベント「文化ゾーンフェスティバル」を開催。その他、上野の山散策ガイドツアー（近現代建築物を巡るなど）、寛永寺僧侶と歩く上野公園巡り、展覧会、コンサートなどを開催。

<加盟団体>

東京国立博物館／国立科学博物館／国立西洋美術館／東京藝術大学／国会図書館 国際子ども図書館／東京都美術館／東京都恩賜上野動物園／東京文化会館／東京都東部公園緑地事務所／（公財）文化財保護・芸術研究助成財団／上野の森美術館／寛永寺／東日本旅客鉄道（株）／東京地下鉄（株）／台東区 ほか

■ Museum Start あいうえの

- ・上野公園に集まる9つの文化機関が連携し、全ての子どもたちが、文化やアートを紹介して「社会に参加しつながりを持つこと」を推進するラーニング・デザイン・プロジェクト。文化を介してコミュニケーションの機会を作り、平等性、多様性を肯定することなどを目的に、2013年にスタート。
- ・小学生～高校生を対象に、年に複数回の無料プログラムを実施。多様な子どもたちにアクティブ・ラーニングのプログラムを提供（2024年度は「ミュージアムGO」「あいうえのmeet」「みるラボ：伝方を考える」など）。

<主催：共催>

東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館／東京藝術大学、上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館



「上野で楽しむ“芸術の秋”」  
上野の山文化ゾーンフェスティバル  
“UBENO NO YAMA” Art Festival  
2024.9.9-11



「たいとう文化マルシェ」公式HPより



「あいうえの」公式HPより

【民間活力の導入（設置管理許可制度）】

■ スターバックスコーヒー/EVERYONES CAFE

- ・東京都が建物を整備し（公財）東京都公園協会に管理を許可の上、同協会が民間事業者を公募する形で2012年に開業。事業者は収益のうち数%を協会に支払い、協会は受け取った収益を公園整備に充当している。



スターバックスコーヒー



EVERYONES CAFE

- ・「上野の山文化ゾーン連絡会」は台東区文化振興課が、「Museum Start あいうえの」は東京都美術館と東京藝術大学の共同運営チームが事務局となっている。連携組織を円滑に運営するためには、主導・統括する事務局が重要な役割を果たす。
- ・「スターバックスコーヒー」と「EVERYONES CAFE」は、設置管理許可制度を用いた公設民営施設である。民間活力を導入するうえで、Park-PFIと併せて有力な手法と考えられる。

※1 設置管理許可制度：都市公園法第5条に基づき、公園管理者以外の者に対し、公園内における施設の設置や管理を許可できる制度目安は10年

## 2 大濠公園（福岡県）

### 事例のポイント

- 池泉回遊式庭園、日本庭園の管理
- 市民ボランティアと園内施設の連携組織
- 民間活力の導入（設置管理許可制度、Park-PFI※2）

### 【公園概要】

- 概要：博多湾の入り江を整備した全国有数の水景公園。福岡市のほぼ中央に位置する。池の周囲約2kmの周遊道や野鳥の森があり、四季折々の花や景色の中、ジョギングやサイクリング、バードウォッチングが楽しめる。
- 所在地：福岡県福岡市中央区大濠公園
- 面積：39.8ha
- 開園：1929年
- 運営者：福岡県
- 指定管理者：(株)西鉄グリーン土木
- 園内施設：日本庭園、ボートハウス大濠パーク、大濠公園能楽堂、福岡市美術館、大濠テラス、スターバックスコーヒー
- 園内組織：大濠公園をよくする会
- 利用者の動向：来場者数 / 不明  
四季別 / 春と秋が多い  
外国人 / 5割以上
- 駐車場：99台（3時間220円、以降1時間160円）



「大濠公園マップ」公式HPより

### 【池泉回遊式庭園、日本庭園の管理】

#### ■ 大濠 西公園管理事務所

- パークセンター機能を持つ施設。スタッフは統括（部長）1名/所長1名/副所長2名/植栽担当1名/施設担当1名/巡回班3名/清掃班6名の中で、シフト制により8~10名程度が常駐するほか、日本庭園にも事務所があり5名程度が常駐。コンシェルジュ機能はない。

#### ■ 今後の展開

- 日本庭園近くの武道館を取り壊し、美術館を建設する構想があり、その際に日本庭園に「案内所」を設置する構想がある。

#### ■ 池泉回遊式庭園、日本庭園の日常管理

- 日常清掃は、スタッフ1名が毎日作業するほか、委託業者が週2~3回勤務し対応（R6より開始）
- 樹木や芝等は、委託業者が休園日に点検、剪定、芝刈り等を実施
- 日本庭園にある池は、委託業者が定期清掃（3回/年）を実施するほか、施設担当者が定期的に現地確認のうえ藻の抑制剤の投与を実施



「大濠公園全景」公式HPより



「日本庭園」公式HPより

### 【市民ボランティアと園内施設の連携組織】

#### ■ 大濠公園をよくする会

- オンリーワンの大濠公園にするため、開園80周年を契機に設立されたボランティア組織（任意団体）。園内の各施設も参加し、連携組織としての一面もある。入会費用は無料、会員数は1,400人を超える。なお、一部の施設が入会していないため、情報共有にタイムラグが発生することがある。
- 活動内容：清掃活動（1回/月）、啓発活動（2回/月）、報告会（1回/年）
- 組織は「運営世話人会」「各活動委員会」「特別委員会」から構成
- 各活動委員会（ボランティアは原則いづれかに入会）
  - 1) ゴミ、清掃 マナーアップ委員会
  - 2) 犬・猫・その他の動物問題 マナーアップ委員会
  - 3) 通行レーン（歩行者・ジョギング・自転車）マナーアップ委員会
  - 4) 魚釣り・池 マナーアップ委員会
  - 5) 花壇・緑地帯 マナーアップ委員会
  - 6) 安全・安心・風紀対策委員会
  - 7) アメニティーイベント委員会



「ゴミ・清掃 マナーアップ委員会」



「花壇・緑地帯 マナーアップ委員会」



「犬・猫・その他の動物問題 マナーアップ委員会」

いずれも公式HP

### 【民間活力の導入（設置管理許可制度、Park-PFI）】

#### ■ スターバックスコーヒー

- 2010年に設置管理許可制度により公園内で初めて民間活力を導入した飲食施設。事業者で施設の設計・建設・運営を行い、公園管理者が設置を許可。



「スターバックス」公式HPより

#### ■ 大濠テラス

- 2020年にPark-PFIにより開業した複合施設。1階は日本茶（八女茶）と地域の食材を使った定食やデザートを提供する『&LOCALS』、「日本酒」と芸術性が高く機能的にも優れた酒器「酒碗」をプロデュース・販売するギャラリー『TENSUDO OHORI PARK』が入居。2階はレンタルスペース。
- 公園の池や緑を眺めながらくつろげる空間を提供している。
- インバウンドの増加を背景に、日本庭園の観光価値向上と南側エリアの活性化を目的として、八女茶をテーマとした飲食機能を有する常設施設を公募
- 「第29回福岡市都市景観賞」「第7回福岡県木造木質化建築賞」を受賞し、イメージアップに寄与している。



「大濠テラス」公式HPより

- 「大濠公園をよくする会」は、任意団体でありながら7つの委員会で構成され、月数回の各活動を継続的に行っている。園内の指定管理施設等も各活動に参加しており、市民ボランティアと協働する仕組みを構築している。
- 「大濠テラス」はPark-PFIの手法を用いて開業した。来園者を日本庭園に誘導することを目指し、日本庭園の比較的近くである池のほとりに立地している。

※2 Park-PFI:「Park-Private Finance Initiative」の略。公募設置管理制度。公園内に飲食店や売店等の利便向上に資する公募対象公園施設の設置と、その収益を活用して園路や広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する仕組み。目安は20年。

### 3 あさひかわ北彩都ガーデン（北海道旭川市）

#### 事例のポイント

- ・集約化されたパークセンター機能
- ・市民との協働によるガーデン管理
- ・様々な主体によるイベント・魅力づくり

#### 【公園概要】

- ・概要：JR旭川駅に直結したまちの中心部にあるガーデン。都市計画大賞・土木学会最優秀賞のほか、国際的な造園賞である「IFLA ASIA-PAC LA AWARD 2017」の最優秀賞を受賞するなど、海外でも高い評価を獲得している。
- ・所在地：北海道旭川市宮前2条1丁目
- ・面積：12ha
- ・開園：2015年
- ・運営者：旭川市
- ・指定管理者：旭川市公園緑化協会(右岸)、グリーンテックス(株)(左岸)
- ・園内施設：ガーデンセンター、SHOP Kitasaito Garden
- ・園内組織：北彩都ガーデンサポーターの会、あさひかわ北彩都ガーデンファンクラブ



「北彩都ガーデン案内図」公式HPより

- ・利用者の動向：来場者数 / 5～10月で8万人、通年で11万人  
四季別 / 6、9、10月の土日が多い  
外国人 / 2～3割程度
- ・駐車場：53台（ガーデンセンター）

#### 【集約化されたパークセンター機能】

##### ■ パークセンター機能

- ・ガーデン全体の管理棟「ガーデンセンター」は、講習会やイベントの開催、情報展示等のビジターセンター機能を備え、ガーデン交流・発信を担い、市民参加の拠点となっている。
- ・体験学習室は40席を有し、常駐スタッフは5名（正職員1、嘱託職員2名、臨時職員2名）
- ・開館時はガーデンを訪れる方の休憩所として、コインロッカーや更衣室などが利用可能で、ガーデン周辺でランニングや歩くスキーなども楽しめる。



「ガーデンセンター」公式HPより

##### ■ 貸館事業（有料）

- ・体験学習コーナー、調理コーナーは貸出しを行っている。
- ・利用件数は延べ100件以上/年
- ・セミナーや婚活パーティー、障害者福祉施設によるイベント「手話とカフェ」などが開催され、民間に広く参加の門戸を開いている。



「貸館イベントの様子」公式HPより

##### ■ 開館

- ・1月5日～12月29日
- ・9時～18時（5～10月）
- ・9時～17時（11月～4月）
- ・休館日：月曜日、年末年始

#### 【市民との協働によるガーデン管理】

##### ■ ガーデナー・フィールドキーパー

- ・植栽管理のための常駐・季節雇用スタッフ
- ・「ガーデナー」は、草本類の管理のほか、ワークショップやイベントの企画等も担い、ガーデンセンタースタッフ（スタッフ3名、アシスタント2名）による。
- ・「フィールドキーパー」は、高所作業車、薬剤散布などを担い、通年雇用1名、季節雇用10名の体制

##### ■ ガーデンサポーター（北彩都ガーデンサポーターの会）

- ・市民が守り育てるガーデンを目指しているボランティア団体。100名を超える登録がある。安定的な維持の実現に向け、常駐スタッフ（ガーデナー）が調整役となり、固定活動日を設けて、活動を推進している。

##### ■ ガイドボランティア

- ・約1年間ガーデナーの研修を受け、見学ツアーのアシスタントガイドとして活動
- ・令和6年10月時点で9名が登録（主体は4～5名程度）

##### ■ 旭川北彩都ガーデンファンクラブ

- ・寄附金という形で北彩都ガーデンを応援する制度。ガーデンを彩る花々の植替え経費などに使用する。



「除草作業」北彩都ブログより



「ガイドの様子」北彩都ブログより

#### 【様々な主体によるイベント・魅力づくり】

##### ■ 指定管理者が中心に運営するイベント等

- ・ガーデンフェスタ：例年夏と秋に開催し、青空マルシェや収穫体験、スカイランタン、コンサート等を行っている。常駐スタッフ以外にも公園緑地協会から応援職員が来る。
- ・クラフト講座等：定期的開催。常駐スタッフのみで対応。
- ・ガーデン号（バス）の運行：直営でフィールドキーパーが運転し、旭川駅南側・アウネの広場を周遊。料金は片道100円。



「ガーデンフェスタ」公式HPより

##### ■ 指定管理者以外が中心となるイベント等

- ・まちなかアクティビティ：（一社）大雪カムイミントラDMO主催で例年開催。北彩都ガーデンでカヌーやSUP、自転車等のアクティビティが気軽に楽しめる。
- ・市政イベントの会場：旭川デザインウィーク、食ベマルシェなど

##### ■ ショップ（SHOP Kitasaito Garden）の運営

- ・旭川市が設置した屋外売店「SHOP Kitasaito Garden」が4月～10月に営業している。
- ・スタッフはガーデンセンターとは別に旭川市が直接雇用している。



「まちなかアクティビティ」公式HPより

・あさひかわ北彩都ガーデンは、花木とのふれあいをメインとしたフラワーガーデンであり、継続的かつ適切な維持管理が重要となる。このため、ガーデナー・フィールドキーパーの常駐スタッフを核としつつ、市民ボランティアであるガーデンサポーターとの協働体制を構築している。